

平成27年度

# 相模原市立博物館 年報



平成28年4月1日

目 次

相模原市立博物館概要 .....	1
1 設立の経緯	
2 設置目的	
3 略年表	
4 平成 27 年度博物館重点目標	
管理運営 .....	5
1 組織及び職員 (1) 組織と事務分掌 (2) 職員	
2 博物館協議会 (1) 趣旨 (2) 委員構成 (3) 活動状況	
3 施設 (1) 施設概要 (2) 施設管理	
4 予算	
教育普及 .....	10
1 入館者数 (1) 27 年度計 (2) 総計 (3) 詳細	
2 企画展等	
3 講座・講演会・教室・観望会等の事業	
4 プラネタリウム・全天周映画	
5 その他 (1) 情報サービスコーナー	
6 学校と博物館の連携を進める研究会	
7 広報・出版等	
8 博物館学芸員実習	
9 学習利用	
10 インターンシップ	
11 博物館職員の講師依頼等	
12 市民との協働	
資料管理 .....	35
1 博物館収蔵資料点数	
2 収集・整理	
3 購入資料	
4 有害生物管理の実施 (1) 受入れ資料のくん蒸 (2) 有害生物調査	
5 資料の特別利用	
調査研究 .....	43
市史・町史編さん .....	44
1 相模原市史	
2 津久井町史	
博物館関連施設 .....	47
1 尾崎弔堂記念館	
2 吉野宿ふじや	
3 入館者一覧表	

## 相模原市立博物館概要

### 1 設立の経緯

昭和 53 年 12 月、郷土懇話会や文化協会ほか 8 団体の連名で「博物館設置要望書」が市長に提出された。翌年、文化関係 6 団体からなる文化財研究協議会が結成され、ここで博物館設立について熱のこもった論議が行われた。設立総会での神崎彰利氏の講演「郷土の文化を守るために = 地域博物館の意義と役割」を理論的柱として、建設促進のための活動が展開された。

こうした市民の積極的な行動と同時に、昭和 55 年、市総合計画の中に「博物館・美術館などの文化施設の検討」が盛り込まれ、昭和 56 年 4 月に社会教育課に博物館準備係が設置され、博物館設立の第一歩が踏み出された。設立の過程で幾つかの問題があったが、最大の難問は建設用地で、旧米軍キャンプ淵野辺跡地処分決定に 6 か年を要したが、博物館をつくる懇話会が提言した“自然環境にめぐまれた”用地が確保された。

平成 7 年 11 月 20 日（市制記念日）に開館。開館後は 1 階の常設展示やプラネタリウムを中心に、企画展や講座・教室・観察会など、子どもから年長者までだれもが楽しく学べるよう、さまざまな事業を行っている。

平成 16 年 1 月に総入館者が 100 万人を超え、同じく平成 23 年 8 月に 200 万人、開館 20 年目を迎えた平成 27 年 6 月には 250 万人を越えるなど、毎年、多くの来館者を迎えている。また、多くの市民の会による活動など、近年はボランティアによる活動も盛んになっており、さらに、学校への出張授業や、土器や昔の道具等「貸出しキット」の活用、市内のすべての小学校が年に一回は来館するなど、学校への支援・連携も積極的に実施している。

### 2 設置目的

郷土の自然及び文化並びに天文に親しむとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、生涯学習の振興を図り、もっていきいきとした市民文化の創造に寄与するため、博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）第 2 条第 1 項に規定する博物館として、相模原市立博物館を相模原市中央区高根 3 丁目 1 番 15 号に設置する。（市立博物館条例第 2 条）

当館の特徴…自然（動物・植物・地質・天文部門）、人文（考古・歴史・民俗部門）両分野にわたる総合博物館で、プラネタリウムを併設する博物館法に基づく登録博物館（H7.11.20 神奈川第 3 号）

## 3 博物館略年表

年 月	事 項
昭和 5 5 年 4 月	相模原市総合計画に建設の検討が盛り込まれる
昭和 5 6 年 4 月	社会教育課に博物館準備係を設置
昭和 5 6 年 6 月	博物館をつくる懇談会を設置
昭和 5 6 年 1 0 月	博物館をつくる懇談会から建設構想策定の提言
昭和 5 8 年 2 月	(仮称)相模原市立博物館基本構想策定
昭和 5 8 年 6 月	展示専門委員会の設置
昭和 5 9 年 3 月	博物館展示基本計画の策定
平成 2 年 1 1 月	国有財産関東地方審議会において博物館建設用地の処分が認められる。(仮称)相模原市立博物館建設基本計画策定
平成 3 年 4 月	博物館建設事務所設置
平成 3 年 5 月	建築設計候補者選考委員会の設置
平成 3 年 7 月	建築設計プロポーザル提案図書提出
平成 3 年 8 月	建築設計者の決定 博物館をつくる懇談会市長へ意見書を提出し解散
平成 3 年 9 月	建築基本設計着手
平成 4 年 1 月	建設用地の取得 展示プロポーザル提案図書の提出
平成 4 年 2 月	展示設計・施工候補者選考委員会設置 展示設計・施工者の決定
平成 4 年 5 月	建設実施設計及び展示実施設計着手 プラネタリウム等候補機種選考委員会の開催
平成 5 年 6 月	博物館建設工事・展示工事・プラネタリウム等設備工事契約
平成 6 年 8 月	天体観測機器設置工事契約
平成 7 年 3 月	相模原市立博物館条例制定 登録原簿への登録を受ける(記号番号 神奈川第 3 2 号)
平成 7 年 7 月	博物館建設工事竣工
平成 7 年 1 0 月	展示工事・プラネタリウム等工事・天体観測機器設置工事竣工
<b>平成 7 年 11 月 20 日 開館</b>	
平成 8 年 5 月	入館者 1 0 万人達成記念式典(5 月 1 9 日)
平成 8 年 1 0 月	平成 8 年度第 4 1 回神奈川建築コンクール最優秀賞受賞
平成 9 年 4 月	障害者・高齢者・ひとり親家庭等の家族に対するプラネタリウム観覧料等の免除施策開始

平成 9 年 4 月	隣接地に淵野辺公園第 2 駐車場（50 台収容）が完成し、博物館駐車場と一体的な運用開始
平成 9 年 5 月	1997 年度日本建築学会作品選奨受賞
平成 9 年 10 月	平成 9 年度通商産業省選定グッド・デザイン施設受賞
平成 9 年 11 月	平成 9 年度第 38 回建築業協会賞受賞
平成 11 年 11 月	<b>11/21 入館者数 50 万人を超える</b>
平成 12 年 5 月	公共建築賞優秀賞受賞
平成 16 年 1 月	<b>1/18 入館者数 100 万人を超える</b> 入館者 100 万人達成セレモニー
平成 17 年 4 月	市立博物館シンボルマークを制定
平成 17 年 10 月	開館 10 周年記念特別展「博物館 10 年の歩み」を実施 <b>10/22 入館者数 120 万人を超える</b>
平成 18 年 10 月	博物館資料調査員 2 名を配置（19 年 4 月より 4 名配置）
平成 22 年 4 月	管理係が企画情報班に組織変更。市史編さん班新設（業務移管）
平成 22 年 7 月	小惑星探査機はやぶさの帰還カプセル世界初公開
平成 23 年 4 月	天文展示室リニューアルオープン
平成 23 年 8 月	<b>8/28 入館者数 200 万人を超える</b> 入館者 200 万人達成セレモニー
平成 24 年 2 月	全天周映画「HAYABUSA BACK TO THE EARTH」の観覧者が 5 万人を超える
平成 25 年 7 月	吉野宿ふじやリニューアルオープン
平成 25 年 8 月	小惑星「イトカワ」の微粒子世界初公開
平成 26 年 12 月	小惑星探査機「はやぶさ 2」打上げパブリックビューイング開催
平成 27 年 3 月	吉野宿ふじや常設展示リニューアル
平成 27 年 6 月	<b>6/20 入館者数 250 万人を超える</b>
平成 27 年 11 月	<b>相模原市立博物館開館 20 周年</b>
平成 28 年 2 月	尾崎弔堂記念館常設展示リニューアル

## 4 平成 27 年度 博物館 重点目標

### 重点目標

より親しまれる博物館とするため、積極的な情報発信及び調査研究を進めるとともに、平成 28 年度に向け、市民、大学等との協働による事業実施を進めます。

- ・ JAXA 等と連携した『宇宙教育普及事業の推進』を図ります。
- ・ 市民協働による展示手法等の検討により『常設展示リニューアル計画の推進』を図り、全市域を網羅した一体感のある展示を目指します。
- ・ 市民協働提案制度を活用し、「吉野宿ふじや活性化事業」、「尾崎弔堂記念館活性化事業」を推進し、『博物館ネットワーク計画の推進』を図ります。
- ・ 積極的な博物館情報の発信を行います。
- ・ 市民、大学との協働はもとより、民間企業との連携・協働の取組み、民間企業のノウハウの活

用などの研究を進めます。

重点施策（取り組むべき事業）

次の事業を実施し、博物館入館者数の増加を図ります。

(1)宇宙教育普及事業

J A X A 等と連携した企画展の開催

講座・講演会等を月 1 回実施。

宇宙・天文分野における支援ボランティアの育成。

プラネタリウム機器更新の検討。

(2)博物館常設展示リニューアル事業

ボランティアとの協働による展示内容の検討。

(3)博物館ネットワーク計画の推進

提案団体と協働で情報ネットワークの構築を図る。

「吉野宿ふじや活性化事業」の実施。

「尾崎号堂記念館活性化事業」（「尾崎行雄の業績と号堂桜を広める事業」）の実施。

(4)博物館施設及び博物館関連施設の維持保全

市公共施設マネジメント指針に沿った適切な維持保全を図ります。

(5)市史・町史編さん事業

「相模原市史ノート（第 13 号）」を刊行します。

津久井町史「通史編 原始・古代・中世」を刊行します。

(6)博物館評価の実施

博物館評価を実施し、より親しまれる博物館を目指します。

施策の取り組み方針

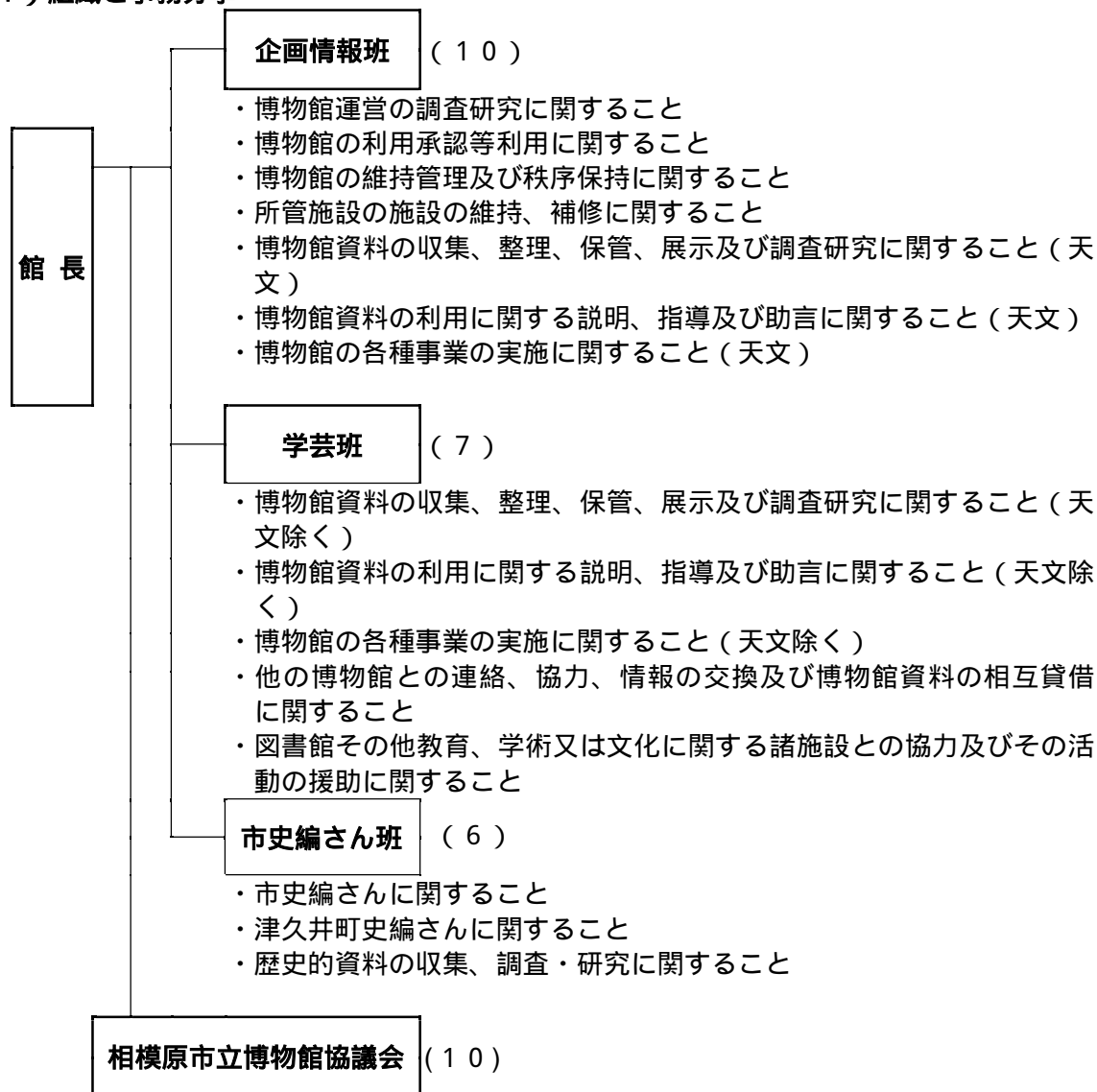
- 1 顧客第一主義の徹底を図るとともに、危機管理意識をもって取り組みます。
- 2 施設利用者や事業参加者の視点を大切にしながら事業を実施します。
- 3 よりわかりやすい博物館情報の発信を行い、積極的に事業の P R を図ります。
- 4 基礎的な資料の収集・整理と保存を確実にを行い、その研究成果を事業に生かします。

## 管理運営

### 1 組織及び職員

平成 28 年 3 月 31 日現在

#### (1) 組織と事務分掌



#### (2) 職員

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

	参事兼館長	佐藤 正五
企画情報班	総括副主幹	佐々木 春美
	主査	松木 悟
	主査	物江 隆
	主査	方波見 淳
	主査	肱岡 実穂子
	主査(学芸員)	岸 篤宏(天文)
	主任	有田 和人
	主任(再任用)	高橋 進
	主任(再任用)	井上 明
	主任(再任用)	古瀬村 智充

(平成 28 年 4 月 1 日現在)

	参事兼館長	佐藤 正五
企画情報班	担当課長	佐々木 春美
	副主幹	肱岡 実穂子
	主査	松木 悟
	主査	物江 隆
	主任	有田 和人
	主任(学芸員)	中川 真人(考古)
	主任(再任用)	高橋 進
	主任(再任用)	井上 明
	主任(再任用)	古瀬村 智充

学芸班	総括副主幹 副主幹 副主幹（学芸員） 主査（学芸員） 指導主事 主査（学芸員） 主査（学芸員）	木村 知之 三沢 長次 加藤 隆志（民俗） 木村 弘樹（歴史） 福井 智之 秋山 幸也（生物） 河尻 清和（地質）	学芸班	総括副主幹 副主幹 指導主事 主査 主査（学芸員） 主査（学芸員） 主査（学芸員）	加藤 隆志（民俗） 木村 知之（生物） 福井 智之 方波見 淳 木村 弘樹（歴史） 秋山 幸也（生物） 河尻 清和（地質）
市史編さん班	担当課長（市史編さん班担当） 副主幹 副主幹（町史担当） 主査 主任（町史担当） 主任（再任用）	鳶野 正明 長谷川 章 守屋 博文 井上 泰 荒井 望 尾崎 當	市史編さん班	担当課長（市史編さん班担当） 副主幹（町史担当） 副主幹 主査 主任（町史担当） 主任（再任用）	鳶野 正明 守屋 博文 三沢 長次 井上 泰 荒井 望 尾崎 當
非常勤特別職	学習指導員 2名 市史編さん調査員 1名			学習指導員 2名 市史編さん調査員 1名	

## 2 博物館協議会

### (1) 趣 旨

博物館法に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関。

### (2) 委員構成 任期2年

平成25年11月20日～平成27年11月19日

会長 副会長

氏 名	備 考	選出区分
奈良美紀	小学校教諭	学校教育
鳴原ふみ子	高等学校校長	
戸塚厚生	市文化財研究協議会会長	社会教育
森山小百合	市立小中学校PTA連絡協議会	
井上博美	市女性学習グループ連絡協議会	家庭教育
小瀬康行	東京家政学院大学教授	学識経験者
青木雄司	神奈川県公園協会職員	
羽生宏人	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所准教授	
田口正男 今井眞弓	市民公募	

平成27年11月20日～平成29年11月19日

会長 副会長

氏 名	備 考	選出区分
関戸祐子	小学校教諭*	学校教育
坂本万里	高等学校校長	
戸塚厚生	市文化財研究協議会会長	社会教育
森山小百合	市立小中学校PTA連絡協議会	
井上博美	市女性学習グループ連絡協議会	家庭教育



小瀬 康 行	東京家政学院大学教授	学識経験者
青木 雄 司	神奈川県公園協会職員	
生田 ちさと	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所准教授	
勝田 一 郎	市民公募	
豊田 里 美		

\*平成27年度は関戸祐子、(平成28年5月21日～)近森謙介

### (3) 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	7月8日(水)	・平成26年度の活動について ・今後の博物館評価の方法について
2	10月28日(水)	・相模原市立博物館の活動の柱について ・今後の博物館評価について
3	2月24日(水)	・博物館協議会の概要について ・博物館の活動について ・今後の予定について

## 3 施設

### (1) 施設概要

ア 敷地面積	9,999.48㎡
イ 構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨 鉄筋コンクリート造・鉄骨造
ウ 規模	地下1階・地上3階建て
エ 建築面積	5,081.03㎡
オ 延床面積	9,510.24㎡

	用途・面積	主な室	内 容
展示・教育	展示スペース (1,907㎡)	自然・歴史展示室 (1,170㎡)	「川と台地と人々の暮らし」をテーマに5つのコーナーから構成され、実物資料はもとより精密なレプリカやジオラマなどを利用し、具体的で分かりやすい展示がされている。
		天文展示室 (127㎡)	「宇宙とつながる」をテーマに、JAXA から借用した実物資料や、隕石、太陽望遠鏡のライブ映像など、身近に感じる資料を用いて、宇宙についての分かりやすい展示がされている。
		特別展示室 (487㎡)	常設展示とは別に、様々なテーマでの特別展示が行われる。
	学習スペース (453㎡)	実習実験室 (90㎡)	各種講座・観察会等を開催 6卓 48席
		情報サービスコーナー (127㎡)	郷土の自然や歴史に関する記録映像、参考図書を収集。子ども向けの図書もあり、自由に閲覧できる。
		大会議室 (237㎡)	各種講座・講演会等を開催 椅子席で200人収容
プラネタリウム (648㎡)	プラネタリウム (648㎡)	室内に210席を配置し、小学校の一つの学年が一度に観覧できる。スクリーンは直径2.3mのドーム型で、星空等の投影のほか大型映像(全天周映画)を上映できる。	
保管・研究	研究スペース (1,038㎡)	市民研究室 (294㎡)	自然と歴史分野の研究室が2階にあり、天文分野の研究室が1階にある。専門書の利用や学芸員への相談が行える。
		天体観測室 (74㎡)	口径40cmの反射望遠鏡が設置され、星空観望会等で実際に天体の観測を体験できる。

平成 27 年度 相模原市立博物館 年報

		整理作業室ほか	博物館資料の整理や調査研究を行うための諸室が設置されている。
	収蔵スペース ( 1,570㎡)	特別収蔵庫ほか	各分野別資料を良好な状態で安全に保存するため、温湿度管理及び警備を行っている。
管理・共用	管理・共用 スペース ( 3,894㎡)	事務室、喫茶室 ミュージアムショップほか	休憩コーナーや軽食のとれる喫茶室、博物館関連のグッズを販売するミュージアムショップ、博物館の管理運営のための事務室や機械室がある。

( 2 ) 施設管理

施設の設備運転・保守、警備、清掃業務は外部委託している。

消防訓練 平成 27 年 7 月 9 日 ( 木 )

平成 28 年 3 月 2 日 ( 水 )

## 4 予 算

( 単位 : 千円 )

款	項	目	科目名	27年度予算額	28年度予算額	財源内訳	27年度
50	20	05	生涯学習施設維持補修費	50	50	一般財源	50
						特定財源	0
50	20	45	博物館費	265,361	278,628	一般財源	245,298
						特定財源	19,063
			計	265,411	278,678		264,411

### 生涯学習施設維持補修費

節		説 明		
区分	金額	博物館の運営及び維持管理に要する経費		
1 1 需用費	50	経費内訳	27年度	28年度
		1 施設修繕料	50	50
計	50	計	50	50

### 博物館費

節		説 明		
区分	金額	博物館の運営及び維持管理に要する経費		
0 1 報酬	4,613	経費内訳	27年度	28年度
0 4 共済費	381	1 博物館協議会経費	331	311
0 7 賃金	6,507	2 施設運営費	62,196	62,850
0 8 報償費	18,805	( 1 ) 資料収集保存経費	7,780	13,554
0 9 旅費	974	( 2 ) 資料調査研究経費	3,632	2,210
1 1 需用費	88,571	( 3 ) 展示・教育普及事業経費	15,290	12,120
1 2 役務費	1,308	( 4 ) プラネタリウム事業経費	34,980	34,524
1 3 委託料	124,806	( 5 ) その他運営費	514	442
1 4 使用料及び賃借料	17,163	3 施設維持管理費	169,779	186,953
1 8 備品購入費	75	4 市史編さん事業	29,458	25,964
1 9 負担金、補助及び交付金	2,140	( 1 ) 相模原市史編さん事業	11,107	17,126
2 7 公課費	18	( 2 ) 津久井町史編さん事業	18,351	8,838
		5 協働事業提案制度事業	2,015	600
		( 1 ) 吉野宿ふじや活性化事業	1,315	0
		( 2 ) 尾崎弔堂記念館活性化事業	700	600
		6 一般事務費	1,582	1,950
計	265,361	計	265,361	278,628
合計	265,411	合計	265,411	278,678

教育普及

1 入館者数

(1) 27年度計 132,201 人 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(2) 総計 2,606,114 人

(3) 詳細

月	入館者数	プラネタリウム総数	プラネタリウム内訳			特別展	星空観望会	講演会 講座等	観覧料	開館 日数	1日 平均
			一般投影	全天候 映画	学習投影						
4月	8,210	2,466	1,394	1,072	—	3,939	78	562	¥ 784,220	25	328
5月	11,259	3,765	2,373	942	450	7,454	155	795	¥ 1,150,720	27	417
6月	10,096	2,974	1,277	766	931	2,918	85	1,277	¥ 794,590	25	404
7月	15,869	5,508	2,611	2,221	676	9,924	179	324	¥ 1,637,590	27	588
8月	18,876	9,754	4,671	5,083	—	14,315	379	1,678	¥ 3,062,580	26	726
9月	10,139	3,528	2,123	880	525	7,292	124	559	¥ 1,107,600	26	390
10月	8,383	2,889	1,393	652	844	1,466	144	400	¥ 778,680	27	310
11月	11,529	5,490	1,638	685	3,167	6,537	124	930	¥ 779,280	24	480
12月	7,542	3,790	1,254	1,222	1,314	4,142	128	596	¥ 820,630	23	328
28年1月	9,685	4,344	1,405	1,776	1,163	5,466	56	1,463	¥ 1,048,920	24	404
2月	8,893	3,757	1,528	766	1,463	5,150	87	1,179	¥ 811,310	23	387
3月	11,720	5,167	1,363	3,453	351	3,262	146	351	¥ 1,527,370	27	434
27年度計	132,201	53,432	23,030	19,518	10,884	71,865	1,685	10,114	¥ 14,303,490	304	435

\* (参考) 開館からの総計

7年度	78,395	38,262	16,796	12,688	8,778	22,199	618	836	¥ 11,099,520	107	733
8年度	125,599	58,023	26,849	20,571	10,603	36,682	1,237	3,186	¥ 18,187,120	300	419
9年度	105,793	43,355	18,654	16,055	8,646	28,388	1,104	3,167	¥ 12,233,880	300	353
10年度	107,306	45,038	18,577	17,747	8,714	24,779	624	5,696	¥ 12,820,900	299	359
11年度	115,031	53,660	20,759	23,651	9,250	36,670	665	5,255	¥ 15,325,720	295	390
12年度	111,161	46,879	17,302	18,777	10,800	31,658	634	5,258	¥ 11,921,600	302	368
13年度	132,776	59,062	20,169	28,312	10,581	57,647	910	4,574	¥ 14,329,780	305	435
14年度	119,068	48,791	19,702	18,277	10,812	55,672	925	4,277	¥ 12,221,160	303	393
15年度	126,120	53,625	18,655	24,859	10,111	51,538	1,133	6,873	¥ 13,904,050	302	418
16年度	111,610	45,780	19,555	16,139	10,086	39,551	1,050	5,148	¥ 11,562,090	300	372
17年度	116,552	52,466	19,404	22,223	10,839	47,479	844	5,725	¥ 12,776,280	301	387
18年度	113,605	52,948	16,783	25,516	10,649	49,588	773	6,896	¥ 14,321,720	303	375
19年度	122,375	49,875	15,973	23,156	10,746	58,218	925	8,245	¥ 13,369,000	304	403
20年度	128,124	52,294	18,612	22,017	11,665	58,436	1,294	11,517	¥ 13,831,800	303	423
21年度	136,000	50,540	16,458	23,109	10,973	64,653	1,846	9,681	¥ 13,679,160	303	449
22年度	182,880	78,991	22,457	44,068	12,466	103,988	1,861	6,249	¥ 25,095,880	301	608
23年度	137,608	61,648	24,887	24,099	12,662	70,716	1,283	9,438	¥ 17,780,860	306	450
24年度	138,619	55,377	30,731	12,011	12,635	68,305	2,228	9,100	¥ 15,274,420	307	452
25年度	138,660	55,905	26,798	16,260	12,847	76,722	2,369	10,114	¥ 15,334,880	306	453
26年度	126,631	51,816	21,996	18,588	11,232	66,370	1,998	11,344	¥ 13,971,950	303	418
27年度	132,201	53,432	23,030	19,518	10,884	71,865	1,685	10,114	¥ 14,303,490	304	435
総計	2,606,114	1,107,767	434,147	447,641	225,979	1,121,124	26,006	142,693	¥ 303,345,260	6,154	423

## 2 企画展等

- (1) 学習資料展 **大地さんと未来さんが見つける「ちょっと昔の暮らし Ⅰ～戦争と生活～」**  
 ア 内容 本市の核兵器廃絶平和都市宣言 30 周年にちなみテーマを「戦争と生活」とした。  
 戦時中の人々の暮らしの様子や戦地に旅立つ兵士、それを見送った家族の思いなどをつづった。戦争の記憶が薄れていく昨今小中学生の皆さんに実物資料を自分の目で確かめ、先人の苦労や思いそして「平和」について考える場として資料展を開催した。

イ 期間 11月26日(水)～平成27年4月5日(日)

ウ 観覧者 平成26年度計 24,146人

平成27年度計 1,355人

延べ総計 25,501人

エ 関連事業 チャレンジ体験コーナー(お手玉、ヨーヨー、けん玉など)

日時 11月29日(土)ほか10回

平成26年度計 2,030人

平成27年度計 299人

延べ総計 2,329人

- (2) 企画展「**図鑑の生きものいっぱい～松原巖樹生物精密画原画展**」

ア 内容 相模原市南区在住の生物細密画家、松原巖樹氏の原画を中心に、生き物の形や色のおもしろさや美しさを表現する多様な手法を紹介した。

イ 期間 4月18日(土)～5月31日(日)

ウ 観覧者 延べ 10,038人

エ 関連事業

松原巖樹さんの絵とお話会「描いて学ぶ、生きもののかたち」

実施日 4月18日(土)

参加者 55人

母の日ペーパークラフト「カーネーションをつくろう」

実施日 5月10日(日)

参加者 44人

- (3) ミニ企画展「**石のステンドグラス～岩石の顕微鏡写真展～**」

ア 内容 模様や色がきれいな岩石の顕微鏡写真を展示した。

イ 期間 6月13日(土)～6月28日(日)

ウ 観覧者 延べ 2,918人

エ 関連事業

展示解説

実施日 6月14日(日)・6月21日(日)

参加者 延べ 40人

石を顕微鏡で見てみよう

実施日 6月28日(日)

参加者 135人

- (4) 企画展 **JAXA × 博物館「あれもこれも世界初！日本の太陽系探査」**

ア 内容 日本の太陽系探査をふりかえるとともに、その中で成し遂げられた、数々の「世界初」を紹介し、期間中は「はやぶさ」帰還カプセルと小惑星「イトカワ」の微粒子を同時公開した。

イ 期間 7月11日(土)～9月27日(日)

ウ 観覧者 延べ 31,531人

工 関連事業

オ 実施日・参加者・対応者

さがみはら宇宙の日

・ 7月12日(日) 「月探査機 S E L E N E (かぐや) がみたもの」

98人 春山純一さん(JAXA宇宙科学研究所助教)

・ 8月30日(日) あかつきトークライブ 「金星探査機『あかつき』  
のこれまでの総復習！」

107人 大月祥子さん(専修大学准教授・あかつき IR1 カメラ担当)

・ 9月6日(日) プラネタリウム宇宙ライブショー「太陽系の秘境を訪ねる」

116人 大川拓也さん(JAXA宇宙科学研究所 科学推進部 広報・普及担当)

昼間の天体観望会 金星探査機「あかつき」応援企画・昼間の金星を見よう

実施日 8月1日(土)

参加者 96人

昼間の天体観望会 水星探査機「MMO」 応援企画・水星を見よう

実施日 9月5日(土)

参加者 65人

展示解説(当館学芸員)

7月19日(日)、8月9日(日)ほか計5日間

参加者 延べ 135人

その他展示解説(前相模原博物館学芸員 山田陽志郎さん)

8月2日(日)、8月8日(土)ほか計5日間

参加者 延べ 253人

(5) 開館20周年記念展 「こんなモノが集まりましたー博物館20年の歩みー」

(6) と同時開催

ア 内容 平成7年11月20日に開館し、平成27年に20周年を迎えたことを記念して、これまでに集められた20万点以上の資料の中から今まであまり展示されなかったことがない、収蔵資料や各専門分野の目玉資料などを紹介した。

イ 期間 10月24日(土)～平成28年2月28日(日)

ウ 観覧者 延べ 22,761人

工 関連事業

博物館バースデーミニコンサート

内容 博物館開館20周年のロゴマークを作成した県立弥栄高校美術専攻の土佐日向菊さんに感謝状を贈呈し、県立弥栄高校音楽専攻の木管五重奏「クインテット・フスコ」が演奏を行った。

実施日 11月21日(土) 全2回

参加者 延べ 190人

ピンポイント解説

内容 分野ごとに当館学芸員が解説を行った。

日時 11月7日(土)ほか12回

参加者 延べ 74人

(6) 学習資料展

(5) と同時開催

ア 内容 ～見て・触って・感じて～をテーマに、小学校3～6年生で学ぶことを中心として、相模原の昔の暮らし、歴史、生き物、地質、天文に関する資料を展示した。

イ 期間 10月24日(土)～平成28年2月28日(日)

ウ 観覧者 延べ 22,761人

工 関連事業

チャレンジ体験コーナー

内容 折り紙、わりばし鉄砲作り、紙しばいなど昔の遊び体験を実施した。

日 時 10月25日(日)ほか9回  
参加者 延べ 1,828人

(7) 考古企画展「相模原市の遺跡2016 つくいの発掘 いくつも見！」

- ア 内容 津久井地域の旧石器時代から近世までの遺跡を紹介した。  
また、最新の発掘調査速報展と市指定文化財に指定された考古資料の特別公開も同時に開催した。
- イ 期間 平成28年3月19日(土)～5月8日(日)
- ウ 観覧者 平成27年度 3,262人  
平成28年度 6,275人  
延べ 9,537人

エ 関連事業

展示解説

実施日 平成28年3月27日(日)・4月17日(日)・5月8日(日)  
参加者 平成27年度 45人  
平成28年度 95人  
延べ 140人

講 師 当館学芸員

記念講演会

発表者 ア「相模原で発見された唐の鏡」  
内川隆志さん(國學院大學学術資料センター教授)  
イ「マメを育てた縄文人?!」  
中山誠二さん(山梨県教育庁学術文化財課文化財指導監)

実施日 平成28年3月21日(祝)

参加者 85人

速報展「さがみはら発掘最新情報」調査成果発表会

実施日 平成28年4月17日(日)

講 師 各発掘調査担当者

参加者 95名

ワークショップ 土器の塗り絵、ジグソーパズルなど

実施日 平成28年3月27日(日)・5月5日(祝)

参加者 平成27年度 117人

平成28年度 321人

延べ 438人

3 講座・講演会・教室・観望会等の事業

(1) 皆既月食を見よう

- ア 内容 皆既月食を観望する集いを月が欠け始める午後7時過ぎから実施した。
- イ 実施日 4月4日(土)
- ウ 参加者 32人
- エ 講 師 当館学芸員

(2) 民俗講演会「神奈川県富士信仰～祭神のイメージを巡って」

- ア 内容 富士信仰に基づく祭神の図柄を資料に、県央地区の歴史、地域的な富士信仰について考えた。
- イ 実施日 4月19日(日)
- ウ 参加者 83人
- エ 講 師 大野一郎さん(厚木市郷土資料館館長)

( 3 ) 民俗講話

- ア 内容 地域の民俗や人々の生活・社会などを年 10 回にわたり解説した。  
 イ 実施日 5 月 9 日 ( 土 ) ~ 平成 28 年 3 月 12 日 ( 土 ) 全 10 回  
 ウ 参加者 延べ 892 人  
 エ 講師 当館学芸員

( 4 ) 地質学講座「相模川の川原の石」

- ア 内容 相模川の河原の礫を観察し、岩石学の初歩について学習した。  
 イ 実施日 5 月 10 日 ( 日 ) ~ 6 月 21 日 ( 日 ) 全 4 回  
 ウ 参加者 延べ 70 人  
 エ 講師 当館学芸員

( 5 ) 第 7 回民俗探訪会「上鶴間地区の石仏を見る」

- ア 内容 市立博物館で活動するボランティア ( 民俗調査会 ) と学芸員が上鶴間地域の石仏などを案内した。  
 イ 実施日 5 月 13 日 ( 水 )  
 ウ 参加者 40 人  
 エ 講師 当館学芸員及び民俗調査会 A

( 6 ) さがみはら宇宙の日

- ア 内容 毎月 1 回研究者を招き、講演やワークショップなどを開催した。偶数月は平成 26 年度に引き続き「あかつきトークライブ」と題し、金星探査機「あかつき」のミッションについて振り返るとともに、研究者を囲んでトークライブ等を開催してきた。「あかつきトークライブ」は 10 月で終了し、その後、JAXA の「はやぶさ 2」関係スタッフによるトークライブを 2 月から開催し、2018 年の小惑星到着まで応援することとなった。

なお、は企画展関連事業として開催したものの。

- イ 実施日 4 月 19 日 ( 日 ) あかつきトークライブ 「探査機と深宇宙ネットワーク」  
 5 月 17 日 ( 日 ) 「アンドロメダ銀河とリーヴィットの法則」  
 6 月 21 日 ( 日 ) あかつきトークライブ 「探査機の構造」  
 7 月 12 日 ( 日 ) 「月探査機 SELENE ( かぐや ) がみたもの」  
 8 月 30 日 ( 日 ) あかつきトークライブ 「金星探査機『あかつき』のこれまでの総復習！」  
 9 月 6 日 ( 日 ) プラネタリウム宇宙ライブショー「太陽系の秘境を訪ねる」  
 10 月 24 日 ( 土 ) あかつきトークライブ : 「金星と地球の環境はなぜ違うのか？」・「日本の科学衛星の歴史 - 開発秘話 -」  
 11 月 28 日 ( 土 ) 「ミミズ・ロボットがロケット燃料をつくったら？」  
 12 月 23 日 ( 水 ) 天文講座：宇宙観測の新時代と銀河宇宙の科学の話  
 1 月 11 日 ( 月・祝 ) 昼間の天体観望会「金星を見よう」  
 2 月 21 日 ( 日 ) 「はやぶさ 2」トークライブ、キックオフ！  
 3 月 9 日 ( 水 ) 部分日食観望会「欠けた太陽を見よう」

ウ 参加者・講師及び対応者

- 79 人 山田隆弘さん ( JAXA 宇宙科学研究所教授 )  
 67 人 当館学芸員、プラネタリウム解説員、星空観望会補助者、市民学芸員  
 73 人 奥泉信克さん ( JAXA 宇宙科学研究所助教 )  
 98 人 春山純一さん ( JAXA 宇宙科学研究所助教 )  
 107 人 大月祥子さん ( 専修大学准教授・あかつき IR1 カメラ担当 )  
 116 人 大川拓也さん ( JAXA 宇宙科学研究所 科学推進部 広報・普及担



	当)
107人	リー・ヨンジュさん( J A X A 宇宙科学研究所招聘研究員 ) 井上浩三郎さん( 元 J A X A 宇宙科学研究所研究員 )
50人	羽生宏人さん( J A X A 宇宙科学研究所准教授 )
34人	当館学芸員
121人	当館学芸員、プラネタリウム解説員、星空観望会補助者、市民学芸員
185人	吉川真さん( J A X A 宇宙科学研究所准教授、「はやぶさ2」ミッションマネージャ )
4人	当館学芸員

総計 720人

### (7) 星空観望会

ア 内容	季節に応じた天体観測により天文知識の普及を図った。
イ 実施回数	計27回(月2回金曜日または土曜日、8月は5回開催・定員120人)
ウ 参加者	延べ 1,685人
エ 対応	当館職員、プラネタリウム解説員、星空観望会補助者、市民学芸員

### (8) 生きものだいすきミニサロン

ア 内容	博物館周辺で身近な生きものを観察した。
イ 実施日	4月26日(土)~28年3月26日(土) 全12回
ウ 参加者	延べ 200人
エ 講師	当館学芸員

### (9) プラネタリウムこども無料デー

ア 内容	5月18日の「国際博物館の日」にちなみ、プラネタリウム・全天周映画を、4歳~中学生は無料で開放した。
イ 実施日	5月17日(日)全4回
ウ 参加者	延べ 394人(内こども計182人・有料観覧者212人)

### (10) 映画会「アオギリにたくして」

ア 内容	「アオギリにたくして」は広島平和記念公園にある被爆アオギリの木の下で、たくさんの人々に被爆体験を語り継いできた、故 沼田鈴子さんをモデルにした映画を鑑賞した。
イ 実施日	5月31日(日)
ウ 参加者	70人
エ 主催	相模原市 共催 相模原市教育委員会 企画 市民平和のつどい実行委員会

### (11) 「はやぶさの日」特別無料上映

ア 内容	「はやぶさの日」を記念して、全天周映画「HAYABUSA BACK TO THE EARTH~帰還バージョン DC版」・「HAYABUSA BACK TO THE EARTH~2009年バージョン」・「HAYABUSA 2 RETURN TO THE UNIVERSE」、プラネタリウム「はやぶさ2の挑戦~新たなる小惑星探査へ~」を無料で上映した。
イ 実施日	6月13日(土) 全4回
ウ 参加者	延べ 798人
エ 関連事業	フリートーク・ナレーション 上坂浩光さん(映画監督)

### (12) プラネタリウムで聞く宇宙のはなし

ア 内容	この夏の星空の楽しみ方や、人の目に見えない光で捉えた宇宙の姿など、ドーム空間ならではの映像とともに、星や宇宙の不思議について解説した。
イ 実施日	6月17日(水)

ウ 参加者 96人  
エ 講師 大川拓也さん(JAXA宇宙科学研究所 科学推進部 広報・普及担当)  
オ 共催 大野台公民館・市立博物館

(13) JAXA相模原キャンパス特別公開

ア 内容 普段は見られない研究施設や最新の研究内容を、JAXAの研究員が分かりやすく解説するイベント。  
博物館では「はやぶさ2」が目指す小惑星の名称募集コーナーとして大会議室を開放した。  
また、全天周映画「HAYABUSA2」を5回目上映として、追加上映した。  
イ 実施日 7月25日(金)・26日(土)  
ウ 入場者 延べ 4,775人

(14) 夏休み親子天文教室「手づくり天体望遠鏡」

ア 内容 親子で天体望遠鏡工作キットを組み立て、プラネタリウムで事前学習した後、共和小校庭で天体を観望した。  
イ 実施日 7月28日(火)  
ウ 参加者 23組57人  
エ 講師 天文担当職員、プラネタリウム解説員、博物館天文ボランティア、市民学芸員

(15) 子ども鉱物教室「鉱物のふしぎ」

ア 内容 ミヨウバン結晶の育成実験や鉱物の硬さ比べなどを通して、鉱物についての初歩を学習した。  
イ 実施日 7月31日(金)、8月7日(金) 全2回  
ウ 参加者 延べ 44人  
エ 講師 当館学芸員、相模原地質研究会、県立相模原青陵高校地球惑星科学部

(16) 小中学生のための生物学教室「動物のからだのつくりと動くしくみ」

ア 内容 いろいろな動物の標本や実物を観察しながらからだのつくりや動くしくみを学んだ。  
イ 実施日 8月26日(水)  
ウ 参加者 29人  
エ 講師 松橋利光さん(生きものカメラマン)、後藤貴博さん(ペットショップオーナー)、当館学芸員

(17) 博物館で楽しく学ぼう「夏休み子ども学習相談」

ア 内容 夏休みの自由課題・研究などについて、学芸員や学習指導員がアドバイスを行った。  
イ 実施日 7月18日(土)～8月30日(日)  
ウ 参加者 延べ 56人  
エ 講師 当館学芸員、学習指導員

(18) 探検!クイズラリー!!

ア 内容 自然・歴史及び天文展示室の内容を問題に設定し、クイズラリー形式で、小学生を中心とした来館者に展示内容を知らせる機会とした。  
イ 実施日 8月29日(土)、8月30日(日) 全2回  
ウ 参加者 延べ 923人  
エ 案内 市民学芸員

(19) 中央地区「子どもと大人 共に学ぶ宇宙教室」公開講座

ア 内容 相模原市中央区中央地区の宇宙教室実行委員会が開催する上記事業の、全5回のうちとを当館での公開講座として実施。

- イ 実施日 9月12日(土) 宇宙ってすごい! 宇宙の“なぞ”と“ふしぎ”のおはなし  
参加者 95人  
10月17日(土) プラネタリウムで見る宇宙の姿&天体望遠鏡で星空観察  
参加者 115人(天候の都合により星空観望会は中止)
- ウ 講師 大川拓也さん(JAXA宇宙科学研究所 科学推進部 広報・普及担当)
- エ 主催 宇宙教室実行委員会
- オ 共催 JAXA 相模原市教育委員会 中央地区社会福祉協議会 中央地区民生委員  
児童委員協議会
- カ 後援 相模原市中央区役所

**(20) 市史講演会「神社建築の歴史と相模原の神社」**

- ア 内容 市史「文化遺産編」を記念して、旧相模原市域を中心に、神社建築の歴史を分かりやすく紹介した。
- イ 実施日 9月27日(日)
- ウ 参加者 143人
- エ 講師 清水擴さん(東京工芸大学名誉教授)

**(21) 町史講演会「津久井の歴史に触れる」**

- ア 内容 「津久井町史 通史編 近世・近代・現代」の刊行を記念し、4つのテーマで講演会を開催した。全4回
- 10月17(土) 「江戸時代の津久井-古記録に残された村の事件」  
講師 西川武臣さん(横浜開港資料館副館長)  
参加者 51人
- 11月7日(土) 「江戸時代の人々の暮らしと川々」  
講師 原和之さん(津久井町史専門調査員)  
参加者 50人
- 11月28日(土) 「関東大震災と津久井町城」  
講師 山口清さん(元城山町教育長)  
参加者 45人
- 12月13日(日) 「明治大正期の水源地・津久井を考える」  
講師 乾照夫さん(元東京情報大学教授)  
参加者 41人
- イ 会場 津久井生涯学習センター

**(22) 民俗講演会「着物の声が聞こえる」**

- ア 内容 着物の着こなし方を通して人と物との付き合い方について考えた。
- イ 実施日 10月18日(日)
- ウ 参加者 52人
- エ 講師 宮本八恵子さん(日本民具学会理事)

**(23) 第8回民俗探訪会「磯部地区北部を歩く」**

- ア 内容 市民ボランティアの民俗調査会が作成した「相模原散策マップ 新磯北部ルート」を基に、学芸員と共に歩いた。
- イ 実施日 11月11日(水)
- ウ 参加者 26人
- エ 講師 当館学芸員及び民俗調査会A

**(24) 学びの収穫祭**

- ア 内容 博物館を拠点に活動するボランティアグループや、学芸員が関わる部活動に参加する中高生が、日頃の活動の成果を発表した。
- イ 実施日 11月21日(土)・22日(日)
- ウ 参加者 延べ 160人

- (25) **歴史講座 北条氏・武田氏的外交戦略～同盟・敵対の戦国駆け引き～**  
 ア 内容 博物館学芸員らによる講義と三増合戦場跡や津久井城跡を探訪した。  
 イ 実施日 12月5日(土)ほか全4回  
 ウ 参加者 延べ 81人
- (26) **観望会・金星探査機「あかつき」挑戦の日に金星を見よう**  
 ア 内容 市立博物館とJAXA宇宙科学研究所の共同開催イベントとして、早朝に、明けの明星・金星を天体望遠鏡で観察した。  
 イ 実施日 12月7日(月)  
 ウ 参加者 60人
- (27) **「繭うさぎづくり」**  
 ア 内容 市民学芸員の指導のもとで、繭うさぎを作成した。  
 イ 実施日 平成28年1月24日(日)  
 ウ 参加者 200人  
 エ 講師 市民学芸員
- (28) **「砂を顕微鏡で見よう」**  
 ア 内容 日本各地の砂の粒の違いや、砂漠の砂や南極の砂などを顕微鏡で観察した。  
 イ 実施日 平成28年1月24日(日)  
 ウ 参加者 221人  
 エ 講師 当館学芸員、相模原地質研究会、県立相模原青陵高校地球惑星科学部
- (29) **公開報告会「カザグルマを守る～関東圏のカザグルマはいま・・・」**  
 ア 内容 市内に自生が確認されている希少種パテンス系クレマチスの母種「カザグルマ」について、その効果的な保全体系の構築を目指すに当たり、関東圏において、カザグルマに関する各種活動を行う団体の基調講演・保全活動報告・ミニシンポジウムを開催した。  
 イ 実施日 平成28年1月30日(土)  
 ウ 参加者 74人  
 エ 基調講演 飯島眞さん(カザグルマ研究家)  
 三池田修さん(都立翔陽高等学校教諭)  
 オ 共催 相模原市立博物館 相模原のカザグルマを守る会 (公財)相模原市まち・みどり公社
- (30) **歴史講演会「将軍足利義昭と織田信長の反目」**  
 ア 内容 織田信長によって擁立された室町幕府最後の15代将軍足利義昭。その後の両者の対立により、信長は義昭に反目し、その結果、義昭を追放して室町幕府は滅亡した。こうした、義昭と信長の関係についての研究成果の講演を行った。  
 イ 実施日 平成28年1月31日(日)  
 ウ 参加者 141人  
 エ 講師 曾根總雄さん(東海大学名誉教授)
- (31) **研究機関等公開講座 宇宙航空研究開発機構コース**  
**「ベピ・コロンボ水星探査計画と探査機の熱設計」**  
 ア 内容 日本とヨーロッパが共同で水星を探査するベピ・コロンボ計画について紹介し、太陽に一番近い惑星である水星を探査する探査機を、灼熱の環境から守る技術について解説した。  
 イ 実施日 平成28年2月6日(土)  
 ウ 参加者 46人  
 エ 講師 小川博之さん(JAXA宇宙科学研究所准教授)  
 オ 主催 相模原市教育委員会(総合学習センター・相模原市立博物館)  
 カ 協力 宇宙科学研究所

(32) 宇宙学校さがみはら あかつき スペシャル

- ア 内容 いよいよ観測が始まる金星探査機「あかつき」の話題を中心に、宇宙科学について JAXA 宇宙科学研究所の 3 人の研究者が授業形式で講演を行った。
- イ 実施日 平成 28 年 2 月 7 日(日)
- ウ 参加者 130 人
- エ 講師 中村正人さん JAXA 宇宙科学研究所教授(「あかつき」プロジェクトマネージャ)  
戸田知朗さん JAXA 宇宙科学研究所准教授(「あかつき」プロジェクト)  
石井信明さん JAXA 宇宙科学研究所教授(「あかつき」プロジェクト)
- オ 主催 JAXA 宇宙科学研究所・相模原市立博物館

(33) X線天文衛星「ASTRO-H」打上げパブリックビューイング

- ア 内容 種子島宇宙センターからリアルタイムでインターネット中継される打上げの様を、参加者と一緒に応援するパブリックビューイングを開催した。
- イ 実施日 平成 28 年 2 月 17 日(水)
- ウ 参加者 78 人

(34) 生物学講演会「うんこはごちそう」 命をつなぐ生態系のホントのはなし

- ア 内容 生態系における「物質の循環」を考えると、生物の排泄物や死体も、別の生物にとっては「いのちのはじまり」である。うんこが自然へ還る過程や、それを促す菌類の姿などをとおして、地球環境の問題に優しく、そして鋭く切り込んだ講演を行った。
- イ 実施日 平成 28 年 2 月 28 日(日)
- ウ 参加者 109 人
- エ 講師 井沢正名さん(糞土師)  
ゲスト 舘野鴻さん(動物画家)

(35) ライトダウン～まちだ・さがみはら 絆・創・光～

- ア 内容 市民・事業者・行政が手を携えて協働し【絆】、節電など一人ひとりができることを考え【創】、街ぐるみで消灯し、星空を見上げることで【光】、震災からの更なる前進を祈るとともに、地球環境について考え、節電や省エネ行動につなげていくもので、町田市と相模原市で連携し、ライトダウンを行った。
- イ 実施日 平成 28 年 3 月 11 日(金)
- ウ 実施区域 相模原市・町田全域
- エ 関連事業 「まちだ・さがみはら 絆・創・光×JAXA 相模原会場」  
講演「となりの星を見て、地球のことを知ろう」～「あかつき」など太陽系探査のおはなし～  
講師 大川拓也さん(JAXA 宇宙科学研究所 科学推進部 広報・普及担当)  
星空観望会「木星とオリオン大星雲」(当日、曇天のため中止)  
実施日 平成 28 年 3 月 4 日(金)  
参加者 61 人
- オ 共催 町田市・相模原市

(36) かんじる学校 2015 こどものための音楽ワークショップ へんてこ楽器で星の音を作ろう!

- ア 内容 プラネタリウムを鑑賞して宇宙や星のイメージを膨らませた後に、楽器に触れたり、絵を描いたりしてストーリーを作り、そのストーリーから音楽を創作し、最後に発表会も行った。
- イ 実施日 平成 28 年 3 月 13 日(日)
- ウ 参加者 32 人
- エ 講師 棚川寛子さん(舞台音楽家)

オ 共 催 (公財)相模原市民文化財団 相模原市教育委員会

#### 4 プラネタリウム・全天周映画

(1) 平成 27 年度観覧者合計 53,432 人

##### (2) 一般投影(プラネタリウム)

- ア 内容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成(所要約40分)
- イ 番組 南十字星と逆さまオリオン～南半球から見た星空～[リバイバル]  
平成27年4月1日(水)～4月5日(日)  
深宇宙彫刻DESPATCH～地球を飛び出した芸術作品～  
平成27年4月7日(火)～5月31日(日)  
まだ見ぬ星をめざして～「はやぶさ2」新たなる旅立ち～[リバイバル]  
平成27年6月6日(土)～6月14日(日)  
もっと宇宙へ!日本の太陽系探査～「はやぶさ」「かぐや」たちが教えてくれたこと～  
平成27年6月16日(火)～9月13日(日)  
金星探査機あかつきの挑戦～5つの搭載カメラが狙うもの～  
平成27年9月15日(火)～11月1日(日)  
流れ星をみつけよう～流星群シーズンがやってくる～  
平成27年11月3日(火)～平成28年1月11日(月)  
超巨大望遠鏡～ALMAとTMT～[リバイバル]  
平成28年1月15日(金)～平成28年2月28日(日)  
もっと知りたい!宇宙のハテナ  
平成28年3月1日(火)～平成28年3月31日(木)
- ウ 観覧者 延べ 11,160人

##### (3) 一般投影(こどもプラネタリウム)

- ア 内容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成(所要約40分)  
親子と一緒にプラネタリウムを楽しめる番組として、平成23年度から新規に投影を開始した。
- イ 番組 ワクワクさがぼん!惑星めぐり  
平成27年4月1日(水)～5月31日(日)  
6月20日(土)～12月27日(日)  
おしえて!さがぼん お月さまってなぁに?  
平成28年1月5日(火)～3月31日(木)
- ウ 観覧者 延べ 7,929人

##### (4) 一般投影(星空模様)

- ア 内容 解説員による季節の星空解説(所要約40分)  
春:平成27年4月11日(土)～5月31日(日)  
夏:6月20日(土)～7月12日(日)  
秋:9月5日(土)～12月13日(日)  
冬:平成28年1月16日(土)～3月13日(日)
- イ 観覧者 延べ 3,941人

##### (5) 全天周映画

- ア 内容 大型映像の全天周映画作品を上映
- イ 番組 名探偵コナン～星影の魔術師(マジシャン)～  
同時上映 「はやぶさ2」宇宙へ出発!  
平成27年4月1日(水)～4月5日(日)

HAYABUSA 2 RETURN TO THE UNIVERSE」  
平成 27 年 4 月 1 日（水）～ 7 月 17 日（金）  
11 月 3 日（火）～ 12 月 18 日（金）  
HAYABUSA BACK TO THE EARTH 帰還バージョン DC 版及び  
HAYABUSA BACK TO THE EARTH 2009 年版  
平成 27 年 6 月 6 日（土）～ 6 月 14 日（日）  
スターオーシャン  
同時上映 コズミックジャーニー短縮版  
平成 27 年 7 月 18 日（土）～ 11 月 1 日（日）  
12 月 19 日（土）～ 平成 28 年 3 月 31 日（木）  
名探偵コナン～探偵たちの星月夜（スターリーナイト）～  
同時上映 「はやぶさ 2」宇宙へ出発！  
平成 27 年 7 月 18 日（土）～ 8 月 30 日（日）  
ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検 2 ～太陽系のひみつ～  
平成 27 年 12 月 19 日（土）～ 平成 28 年 1 月 11 日（月）  
3 月 19 日（土）～ 3 月 31 日（木）

ウ 観覧者 延べ 19,518 人

#### （6）投影等開始時間

平日（火～金（特別上映期間を除く））

午後 2 時 40 分

午後 3 時 50 分

土・日・祝日及び特別上映期間

午前 11 時 00 分

午後 1 時 30 分

午後 2 時 40 分

午後 3 時 50 分

#### （7）学習投影

ア 内容 小中学校、幼稚園・保育園の団体観覧用の番組

イ 番組 小中学校向け「今晚の星空」

「空を見上げて（夏・冬）」

「星空模様（春・夏・秋・冬）」

「太陽と惑星」

幼児向け「今晚の星空」

「うちゅうの七にんきょうだい」

「ピーターパンのぼうけん」

「ぼくらのうちゅうりょこう～ダーツでめぐる銀河の旅～」

「おしえて！さがぼん お月さまってなあに？」

「おしえて！さがぼん 宇宙のおしごと」

「おしえて！さがぼん お日さまって何いろ？」

「おしえて！さがぼん 星空あそび」

「ワクワクさがぼん！惑星めぐり」

ウ 投影時間 事前に利用団体と調整し、平日の午前 1 回、午後 1 回投影

エ 観覧者 延べ 10,884 人

#### （8）広報

プラネタリウム・全天周映画番組ごとに案内ポスター・チラシを作成し小中学校等に発送。

春休みに上映した全天周映画「ドラえもん」はオフセット印刷のポスターを作成し、市外各機関へも掲示依頼した。

## 5 その他

### (1) 情報サービスコーナー

ビデオ作品年間視聴回数	計	96回
DVDライブラリー作品年間視聴回数	計	236回

## 6 学校と博物館の連携を進める研究会

### (1) 趣 旨

学校教育の場で児童・生徒の多様な学習要求に応じた幅広い学習活動充実のために、博物館の効率のかつ積極的な利用を図り、博物館の持っている機能を十分に生かす学校と博物館の連携のあり方を研究・協議する機関。

### (2) 委員構成

任期2年(平成26年7月1日～平成28年6月30日) 委員長 副委員長

氏 名	備 考
内 村 昭 広	内出中学校総括教諭
宮 坂 賢 一	藤野中学校総括教諭
遠 山 正 良	大島小学校教諭
今 井 千 鶴 子	桂北小学校教諭
本 多 絵 美	鳥屋小学校教諭
大 田 啓 嗣	大野台中央小学校教諭
小 池 文 夫	共和中学校教諭

### (3) 活動状況

開催日	おもな内容
5月21日(木)	平成27年度学習資料展に向けて、担当分野ごとにテーマや内容について検討
6月23日(火)	学習資料展に向けて、担当分野ごとに展示資料・レイアウト等の検討
9月29日(金)	担当分野ごとに解説文・キャプション等の検討 学習資料展について最終確認



## 7 広報・出版等

### (1) 印刷物・刊行物

- ア 企画展・学習資料展のポスター・パンフレット等
- イ プラネタリウム・全天周映画のポスター・チラシ等
- ウ 報告書

### (2) 有償刊行物一覧(平成28年3月31日現在)

博物館と市役所行政資料コーナーで販売 売上総計 ¥700,520 円

博物館 図録・報告書等売上

合計 49冊 ¥29,640 円

#### ア 特別展・企画展図録等

書名	販売価格	発行年月	売上冊数
郷土の巨匠・岩橋英遠展	¥1,000	H 7.11	完売
江南の至宝	¥1,300	H 8.2	完売
相模原の昆虫 - 身近にいる小さな仲間たち -	¥350	H 8.4	完売
日本の宇宙開発	¥1,000	H 8.11	完売
絵図から地形図へ - 近代地形図の誕生と発展 -	¥2,550	H 9.7	完売
太陽系 - 母なる太陽とその家族を巡る -	¥700	H 9.11	完売
浮世絵名品展	¥1,800	H 10.9	完売
水生昆虫の世界 - 水の中の小さな虫たち -	¥1,200	H 11.7	完売
描かれた農耕の世界	¥1,500	H 11.10	完売
花を描き、花を知る - 植物画の魅力 -	¥1,200	H 12.7	完売
幕末・維新の相模原 - 村の殿様 旗本藤澤次謙と村人たち -	¥1,500	H 12.10	完売
星の測量 - 角度をはかり、位置をもとめる -	¥700	H 13.7	4
"道"再発見 - 道の役割とその移りかわり -	¥1,500	H 13.10	完売
昆虫のふしぎ	¥500	H 14.7	3
水晶ってすばらしい! - その美と実用の魅力 -	¥1,000	H 15.7	0
晃嶺の百花譜	¥1,500	H 16.7	1
相模原 - その開発と変貌 -	¥800	H 16.10	9
地球46億年	¥900	H 17.7	1
相模川・桂川流域の縄文時代	¥950	H 18.10	完売

#### イ 報告書等

研究報告第7集 1999	¥850	H 10.3	完売
研究報告第8集 2000	¥850	H 11.3	完売
研究報告第9集 2001	¥900	H 12.3	完売
研究報告第10集 2002	¥900	H 13.3	完売
研究報告第11集 2002	¥850	H 14.3	完売
研究報告第12集 2003	¥900	H 15.3	0
研究報告第13集 2004	¥900	H 16.3	0
研究報告第14集 2005	¥900	H 17.3	0
研究報告第15集 2006	¥1,050	H 18.3	0
研究報告第16集 2007	¥1,150	H 19.3	0
研究報告第17集 2008	¥1,150	H 20.3	1
研究報告第18集 2009	¥700	H 21.3	0
研究報告第19集 2010	配布のみ	H 22.3	-
研究報告第20集 2012	配布のみ	H 24.3	-
研究報告第21集 2013	配布のみ	H 25.3	-
研究報告第22集 2014	配布のみ	H 26.3	-
研究報告第23集 2015	配布のみ	H 27.3	-
研究報告第24集 2016	配布のみ	H 28.3	-
相模原市民俗調査報告書 大島地区の自然と文化	¥900	H 10.3	完売
地図資料目録 一般図・主大図・地形図	¥1,200	H 12.3	完売
桐生亮コレクション標本目録	¥1,150	H 13.3	完売
相模原市民俗調査報告書 大島・上矢部・田名・上溝・当麻地区の民俗	¥600	H 14.3	1

資料目録 4 テフラ標本目録	¥850	H 15 . 3	2
資料目録 5 相模原植物誌	¥600	H 15 . 3	2
古淵 B 遺跡旧石器時代資料再整理調査報告書	¥850	H 17 . 3	1
博物館所蔵古文書目録	¥900	H 17 . 3	4
境川流域民俗調査報告書	¥500	H 17 . 3	完売
博物館資料調査報告書 相模川の水生昆虫	¥1,700	H 20 . 3	2
さがみはら自然ガイド カエル見つけた!!	¥180	H 21 . 5	18

ウ 展示解説書

常設展示解説書	¥1,000	H 8 . 11	完売
---------	--------	----------	----

合 計	¥ 29,640		49
-----	----------	--	----

市史・町史

博物館と市役所行政資料コーナー及び市書店協同組合加盟店で委託販売

市史・町史合計 296冊 ¥670,880 円

ア 相模原市史

相模原市史 第1巻 (中世以前通史)	¥2,300	S 39 . 11	2
相模原市史 第2巻 (近世通史)	¥3,400	S 42 . 3	1
相模原市史 第3巻 (近代通史)	¥2,800	S 44 . 2	2
相模原市史 第4巻 (現代通史)	¥3,200	S 46 . 3	3
相模原市史 第5巻 (中世・近世資料集)	¥4,500	S 40 . 11	1
相模原市史 第6巻 (近代資料集)	¥3,200	S 43 . 2	1
相模原市史 第7巻 (別編)	¥1,900	S 47 . 3	1
相模原市史 現代図録編	¥1,500	H 16 . 11	10
相模原市史 現代資料編	¥3,700	H 20 . 3	3
相模原市史 自然編	¥3,400	H 21 . 5	21
相模原市史 民俗編	¥2,550	H 22 . 3	15
相模原市史 民俗編DVD版	¥1,550	H 22 . 3	6
相模原市史 現代通史編	¥2,100	H 23 . 3	8
相模原市史 考古編	¥2,650	H 24 . 3	24
相模原市史 現代テーマ編	¥2,310	H 26 . 3	10
相模原市史 文化遺産編	¥3,060	H 27 . 3	36
相模原市史ノート創刊号	¥350	H 16 . 3	4
相模原市史ノート2号	¥700	H 17 . 3	0
相模原市史ノート3号	¥600	H 18 . 3	0
相模原市史ノート4号	¥600	H 19 . 3	2
相模原市史ノート5号	¥600	H 20 . 3	0
相模原市史ノート6号	¥700	H 21 . 3	0
相模原市史ノート7号	¥700	H 22 . 3	0
相模原市史ノート8号	¥650	H 23 . 3	0
相模原市史ノート9号	¥700	H 24 . 3	0
相模原市史ノート10号	¥700	H 25 . 3	2
相模原市史ノート11号	¥700	H 26 . 3	8
相模原市史ノート12号	¥700	H 27 . 3	13
相模原市史ノート13号	¥700	H 28 . 3	0
相模原市史調査報告書 1 旧石器時代遺跡資料調査報告書	¥1,400	H 19 . 3	4
相模原市史調査報告書 2 動植物調査目録	¥2,400	H 21 . 3	3
相模原市史調査報告書 3 相模原周辺の関東ローム層中の植物珪酸体からみた過去8万年間の気候植生変化	¥1,500	H 21 . 3	1
相模原市史調査報告書 4 相模原地域の第4紀地史研究のための指標テフラ(火山灰)	¥2,300	H 21 . 3	2
相模原市史調査報告書 5 縄文時代遺跡資料調査報告書	¥1,000	H 21 . 3	3
相模原市史調査報告書 6 勝坂有鹿谷祭祀遺跡資料報告書	¥1,350	H 22 . 3	6
相模原市史調査報告書 7 当麻山無量光寺歴代人墓所石造塔婆群調査報告書	¥1,200	H 23 . 3	4
合 計	¥445,010		196

イ 城山町史

城山町史 1	資料編 考古・古代・中世	¥7,000	H 4 . 3	0
城山町史 2	資料編 近世	¥6,000	H 2 . 3	0
城山町史 3	資料編 近現代	¥7,000	H 5 . 3	0
城山町史 4	資料編 民俗	¥5,150	S 63 . 3	0
城山町史 5	通史編 原始・古代・中世	¥3,500	H 7 . 3	2
城山町史 6	通史編 近世	¥3,500	H 9 . 3	1
城山町史 7	通史編 近現代	¥3,500	H 9 . 3	0
城山風土記 1	近現代編	¥600	H 3 . 3	0
城山風土記 2	近世文書を読むために	¥700	H 6 . 3	9
城山風土記 3	九十歳の雑記帳	¥600	H 7 . 3	1
城山風土記 4	歴史・民俗編	¥600	H 8 . 8	4
城山風土記 5	町の歩みをふりかえる	¥600	H 9 . 3	3
城山町史資料所在目録 近世文書		¥3,600	S 60 . 3	0
城山町史資料所在目録 近現代文書・近世文書補遺		¥2,900	S 61 . 12	0
城山町史新聞記事目録		¥1,200	S 62 . 3	0
町史の窓（復刻版）		¥1,100	H 18 . 3	2
合 計		¥23,800		22

ウ 津久井町史

津久井町史	資料編 近世 1	¥2,000	H 16 . 3	5
津久井町史	資料編 考古・古代・中世	¥2,900	H 19 . 3	9
津久井町史	資料編 近代・現代	¥3,150	H 21 . 2	4
津久井町史	資料編 近世 2	¥3,550	H 23 . 3	6
津久井町史	自然編	¥3,690	H 25 . 3	10
津久井町史	通史編 近世・近代・現代	¥2,720	H 26 . 3	19
津久井町史	通史編 原始・古代・中世	¥2,620	H 28 . 3	0
ふるさと津久井	第 1 号	¥1,000	H 12 . 3	完売
ふるさと津久井	第 2 号 特集 山に生きる	¥1,000	H 13 . 3	完売
ふるさと津久井	第 3 号 (特別号) 津久井の古地	¥1,000	H 14 . 3	完売
ふるさと津久井	第 4 号 特集 養蚕と織物 ( 1 )	¥1,000	H 15 . 9	完売
ふるさと津久井	第 5 号 特集 養蚕と織物 ( 2 )	¥750	H 24 . 3	5
ふるさと津久井	第 6 号	¥820	H 26 . 3	4
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫」		¥1,700	H 16 . 3	1
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫」		¥1,500	H 20 . 3	3
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫」		配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫」	CD版	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の植物」		配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の植物」	CD版	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の動物」		¥720	H 25 . 2	3
津久井町史調査報告書「津久井町の気象」		¥1,840	H 25 . 2	0
津久井町史資料目録 公文書 1		¥2,300	H 22 . 3	0
津久井町史資料目録 公文書 2		¥1,700	H 24 . 3	1
津久井町史資料叢書 事務報告 1		¥1,850	H 22 . 3	0
津久井町史資料叢書 事務報告 2		¥1,850	H 22 . 3	0
合 計		¥175,670		70

エ 相模湖町史

相模湖町史	歴史編	¥14,000	H 13 . 3	1
相模湖町史	民俗編	¥5,600	H 19 . 2	0
相模湖町史	自然編	¥11,550	H 20 . 2	0
合 計		¥14,000		1

オ 藤野町史

藤野町史	資料編上	¥3,000	H 6 . 3	2
藤野町史	資料編下	¥3,000	H 6 . 3	0
藤野町史	通史編	¥4,000	H 7 . 3	1
ふじの町史	研究誌 ( 第 1 号 )	¥600	H 2 . 3	1
ふじの町史	研究誌 ( 第 2 号 )		H .	完売
ふじの町史	研究誌 ( 第 3 号 )	¥600	H 5 . 3	1
ふじの町史	研究誌 ( 第 4 号 )		H 6 . 2	完売
ふじの町史	研究誌 ( 第 5 号 )	¥600	H 8 . 3	2
合 計		¥12,400		7

(3) 他の機関等との関連

ア ポスター掲示

前述の各ポスターを、市各機関・近隣博物館等へ送付し、掲示を依頼した。

イ 記事提供

広報さがみはら、相模原記者クラブ、新聞・雑誌・タウン誌等のメディアなどへ記事・パンフレットなどの情報を提供した。

ウ 放送番組ロケ

NHK、J-COM、FMさがみ、FMヨコハマ、BS朝日など、博物館や博物館の事業を紹介するテレビ・ラジオ番組の取材に対応した。

8 博物館学芸員実習

学芸委員資格取得のために実習として、8月4日～9月15日の内実質9日間に16人を受け入れた。分野別受入大学は以下のとおり。

分野	大学	人数	分野	大学	人数
歴史	実践女子大	1	生物	工学院大	1
	法政大	1		日本大	1
	首都大	1		桜美林大	1
	鶴見大	1		東京農業大	1
民俗	帝京大	1	地質	日本大	1
	清泉女子大	1		日本女子大	1
	専修大	1		首都大	1
	日本大	1		東京都市大	1

9 学習利用

学校及びそれに類する団体の利用（プラネタリウム学習投影、展示学習、職場体験）について、依頼に基づき博物館職員が対応した。

月	件数	人数	月	件数	人数	月	件数	人数	
4月	2	13	8月	3	83	12月	22	1,554	
5月	15	699	9月	17	952	1月	31	1,524	
6月	36	1,282	10月	28	1,237	2月	33	1,944	
7月	27	1,202	11月	53	3,683	3月	19	740	
							年計	286	14,913

10 インターンシップ

職員課職員研修所の依頼により8月1日から8月31日の内、実質5日間にインターンシップとして、大学生2名を受け入れた。

## 1 1 博物館職員の講師依頼等

市内各公民館・小中学校等で実施される講座・研修等について、依頼に基づき博物館職員を講師として派遣した。(これに類するものも記載) 総計 82 件  
内訳 生物 18 件 歴史 34 件 地質 6 件 民俗 9 件 天文 14 件 自然 1 件

	演 題 等	依頼者	分野	月 日	場 所	担 当
1	第 1 回環境学習セミナー	環境情報センター	生物	4 月 4 日(土)	環境情報センター	秋山幸也
2	出前授業「カイコのはなし」	青葉小学校	生物	5 月 15 日(金)	青葉小学校	秋山幸也
3	橋本で人と人が集うということ	アートラボはしもと	民俗	5 月 16 日(土)	アートラボはしもと	加藤隆志
4	出前授業「カイコのはなし」	上溝小学校	生物	5 月 19 日(火)	上溝小学校	秋山幸也
5	相模原の段丘と城山の地質	文化財保護課	地質	5 月 20 日(水)	城山パークセンター	河尻清和
6	出前授業「カイコのはなし」	星が丘小学校	生物	5 月 26 日(火)	星が丘小学校	秋山幸也
7	中庭のいろいろな生きものを観察しよう	弥栄小学校	生物	5 月 28 日(木)	弥栄小学校	秋山幸也
8	出前授業「カイコのはなし」	大野台中央小学校	生物	6 月 4 日(木)	大野台中央小学校	秋山幸也
9	考古学に触れてみよう「勾玉づくり」	由野台小学校	歴史	6 月 6 日(土)	由野台小学校	木村弘樹 福井智之
10	相模原市歴史講座「二町六か村・上溝編」	田名公民館	民俗	6 月 6 日(土)	上溝公民館	加藤隆志
11	出前授業「カイコのはなし」	共和小学校	生物	6 月 9 日(火)	共和小学校	秋山幸也
12	出前授業「カイコのはなし」	二本松小学校	生物	6 月 9 日(火)	二本松小学校	秋山幸也
13	相模原地域づくり大学	市民協働推進課	歴史	6 月 11 日(木)	ユニコムプラザさがみはら	木村弘樹
14	出前授業「カイコのはなし」	大野小学校	生物	6 月 16 日(火)	大野小学校	秋山幸也
15	地元再発見～各地区の民俗から考える～	麻溝まちづくりセンター	民俗	6 月 17 日(水)	麻溝公民館	加藤隆志
16	相模原地域づくり大学	市民協働推進課	地質	6 月 18 日(木)	ユニコムプラザさがみはら	河尻清和

17	相模原地域づくり大学	市民協働推進課	生物	6月25日(木)	ユニコムプラザさがみはら	秋山幸也
18	生きもの触れ合い体験	谷口台小学校	生物	7月4日(土)	谷口台小学校	秋山幸也
19	城山御林の「江川ヒノキ」について	文化財保護課	歴史	7月14日(火)	城山パークセンター	井上泰
20	相模原を学ぼう	アンダンテの会	歴史	7月16日(木)	緑区合同庁舎	木村弘樹
21	相模原地域づくり大学	市民協働推進課	民俗	7月16日(水)	ユニコムプラザさがみはら	加藤隆志
22	青根小学校校舎見学会	文化財保護課	歴史	7月18日(土)	青根小学校	木村弘樹
23	中野歴史ウォーク	中野小学校	歴史	7月27日(月)	中野小学校	井上泰
24	出張観望会	横山公民館	天文	7月31日(金)	横山公民館	岸篤宏 福井智之
25	博物館の専門職員養成に関する対話の会	自然史学会連合博物館部会	生物	8月13日(金)	中央大学	秋山幸也
26	音久和地区歴史ウォーク	青根中学校	歴史	8月27日(木)	音久和地区	井上泰
27	研究員研究「学校における持続可能な発展のための(E S D)について」	総合学習センター	生物	8月27日(木)	総合学習センター	秋山幸也
28	出前授業「蚕の育て方」	田名北小学校	生物	9月15日(火)	田名北小学校	秋山幸也
29	「エコリーダー研修」	相模原市まち・みどり公社	生物	9月18日(金)	けやき会館	秋山幸也
30	丹沢環境学習ネットワークスキルアップ研修会	神奈川県公園協会	歴史	9月28日(月)	宮ヶ瀬ビジターセンター	守屋博文
31	出前授業「昔の道具」	もえぎ台小学校	歴史	9月30日(水)	もえぎ台小学校	福井智之
32	高齢者学級「ふるさとを学ぶ～我がさがみはら～」	中央公民館	歴史	10月1日(木)	中央公民館	木村弘樹
33	出前授業「昔の道具」	夢の丘小学校	歴史	10月6日(火)	夢の丘小学校	福井智之
34	出張観望会	桂北公民館	天文	10月6日(火)	桂北公民館	岸篤宏
35	高齢者学級「麻溝における北条と武田と“さいかちの木”」	麻溝公民館	歴史	10月8日(木)	麻溝公民館	木村弘樹
36	勝坂を学ぼう! 「勝坂の秋の実りと野鳥のくらし」	文化財保護課	生物	10月10日(土)	勝坂遺跡公園	秋山幸也

37	橋本公民館杜の学級「相模原の昔を知る(戦後編)」	橋本公民館	歴史	10月14日(水)	橋本公民館	木村弘樹
38	山岳信仰の歴史学	大東文化大学	民俗	10月20日(火)	大東文化大学	加藤隆志
39	相模湖の石仏について	桂北公民館	民俗	10月22日(木)	桂北公民館	加藤隆志
40	成人学級『緑の芽』『山あり谷あり五感あり』	中央公民館	歴史	10月23日(金)	麻溝台地区	木村弘樹
41	出張観望会	桂北公民館	天文	10月23日(金)	桂北公民館	岸篤宏
42	相模原市内寺院の文化遺産について	相模原佛教會	歴史	10月29日(木)	ア・ドマニ	木村弘樹
43	出張観望会	若草小学校	天文	10月30日(金)	若草小学校	福井智之 岸篤宏
44	古民家山十邸文化財セミナー -北条氏VS武田氏の激闘	愛川町教育委員会	歴史	11月1日(日)	古民家山十邸	木村弘樹
45	高齢者学級「写真とともに振り返る相模原の60年」	相模台公民館	歴史	11月5日(木)	相模台公民館	木村弘樹
46	出前授業「昔の道具」	富士見小学校	歴史	11月5日(木)	富士見小学校	福井智之
47	出前授業「昔の道具」	陽光台小学校	歴史	11月6日(金)	陽光台小学校	福井智之
48	「大地のつくりと変化」	若草小学校	地質	11月10日(金)	若草小学校	河尻清和
49	愛川町神明社奉賛会講演会 「概説 三増合戦」	愛川町神明社奉賛会	歴史	11月14日(土)	愛川町	木村弘樹
50	出張観望会	もえぎ台小学校	天文	11月18日(水)	もえぎ台小学校	福井智之 岸篤宏
51	日本民俗音楽学会第29回 相模原大会シンポジウム	日本民俗音楽学会	歴史	11月21日(土)	相模女子大学	木村弘樹
52	古民家園講演会「戦国さがみ いろいろ城物語」	相模原市教育委員会	歴史	11月22日(日)	相模原市古民家園	木村弘樹
53	「大いなる神奈川の地盤」	(公)地盤工学会関東支部	地質	11月28日(土)	相模湖周辺	河尻清和
54	「麻溝地区の歴史文化について」	麻溝小学校	民俗	12月1日(火)	麻溝小学校	加藤隆志
55	「大地のつくり」	藤野南小学校	地質	12月9日(水)	名倉シュタイナー学園周辺	河尻清和 福井智之
56	出張観望会	沢井公民館	天文	12月12日(土)	沢井公民館	岸篤宏
57	出張観望会	九沢小学校	天文	12月15日(火)	九沢小学校	福井智之 岸篤宏

58	出張観望会	星が丘公民館	天文	12月19日(土)	星が丘公民館	岸篤宏
59	出前授業「昔の暮らし」	大沼小学校	歴史	12月22日(火)	大沼小学校	福井智之
60	研修会「身近な昆虫の観察」	相模原市立小学校教育研究会理科部会	自然	1月13日(水)	橋本小学校	守屋博文
61	出張観望会	陽光台公民館	天文	1月15日(金)	陽光台公民館	岸篤宏
62	出張観望会	東林公民館	天文	1月16日(土)	東林公民館	岸篤宏
63	出前授業「働くことの意義」	相模台中学校	地質	1月20日(水)	相模台中学校	河尻清和
64	出前授業「昔の暮らし」	清新小学校	歴史	1月21日(木)	清新小学校	福井智之
65	出前授業「昔の暮らし」	鶴の台小学校	歴史	1月26日(火)	鶴の台小学校	福井智之
66	出張観望会	横山公民館	天文	1月29日(金)	横山公民館	平能克泰 (元当館指導主事)
67	出前授業「昔の暮らし」	相武台小学校	歴史	2月2日(火)	相武台小学校	福井智之
68	「横山を知ろう」てるて姫ゆかりの地 講義・探訪	横山公民館	歴史	2月2日(火)	横山公民館	木村弘樹
69	さがみはら生物多様性シンポジウム	水みどり環境課	生物	2月13日(土)	相模原市民会館	秋山幸也
70	出前授業「昔の暮らし」	中央小学校	歴史	2月16日(火)	中央小学校	福井智之
71	「ミシマサイコと相模原」	清新公民館	生物	2月16日(火)	清新公民館	秋山幸也
72	相模湖地区生きがい大学「相模湖の歴史」	相模湖保健福祉課	歴史	2月17日(水)	相模湖リフレッシュセンター	木村弘樹
73	出前授業「昔の暮らし」	共和小学校	歴史	2月18日(木)	共和小学校	福井智之
74	出前授業「昔の暮らし」	広田小学校	歴史	2月26日(金)	広田小学校	福井智之
75	「城山のまつりについて」	城山エコミュージアム運営委員会	民俗	2月28日(日)	城山公民館	加藤隆志
76	出前授業「昔の暮らし」	千木良小学校	歴史	3月4日(金)	千木良小学校	福井智之
77	図書館活用講座「さがみはらの史跡散歩」	相模大野図書館	歴史	3月4日(金)	相模大野図書館	木村弘樹
78	文化財調査・普及員研修会	文化財保護課	民俗	3月12日(土)	市立産業会館	加藤隆志



平成 27 年度 相模原市立博物館 年報

79	「まちだ・さがみはら絆・創・光」× J A X A	町田市環境資源部	天文	3月11日(金)	まちだターミナルプラザ	岸篤宏
80	「青野原 神さま 仏さま」	津久井生涯学習センター	歴史	3月12日(土)	青野原地区	井上泰
81	出張観望会	桂北・千木良公民館	天文	3月18日(金)	内郷小学校	杉本芳秋 (元当館職員)
82	出張観望会	津久井中央公民館	天文	3月25日(金)	津久井中央公民館	岸篤宏 杉本芳秋 (元当館職員)

## 1 2 市民との協働

### (1) 市民学芸員

ア 内容 学習資料展の企画・準備と関連事業運営、クイズラリー企画・運営、星空観望会補助等を実施した。また、有志による、常設展示「自然・歴史展示室」の展示替えに向けての検討会を開始した。

イ 登録者 38人

ウ 参加者 延べ 851人(活動回数:110回)  
展示替え検討会(定例会回数11回)の延べ参加者116名

### (2) さがみはら水生動物調査会

ア 内容 相模原市内での水生動物の調査や講師派遣への協力を行った。

イ 登録者 24人

ウ 参加者 延べ 50人

### (3) 相模原植物調査会

ア 内容 市域の植物相調査を行うとともに、標本作製、整理を行った。また、月1回程度の例会を行い、標本を使った植物分類の勉強会を行った。

イ 登録者 57人

ウ 参加者 延べ 280人

### (4) 相模原地質研究会

ア 内容 市内および周辺地域の地質調査や資料整理を行った。地質学講座や子ども鉱物教室など地質分野の教育普及活動を学芸員とともにを行った。

イ 登録者 14人

ウ 参加者 延べ 137人

### (5) 相模原縄文研究会

ア 内容 市内の縄文時代などの遺跡の調査と資料整理を行った。また、学びの収穫祭や考古企画展関連事業として、ワークショップや活動紹介を博物館と協働で行った。また、発掘調査地や縄文時代に関連する視察研修などを実施した。

イ 登録者 13人

ウ 参加者 延べ 160人

### (6) 民俗調査会 A

ア 内容 市内外のフィールドワークを行いながら、南区上鶴間地区及び南区磯部地区の「民俗探訪会」を実施した。また、横浜市歴史博物館「民俗に親しむ会」との交流会も協力を行った。

イ 登録者 18人

ウ 参加者 延べ 128人(毎月一回実施しているフィールドワーク他の参加人数)

\*このほかに、横浜市歴史博物館「民俗に親しむ会」との交流会として、10月4日・厚木市七沢の石切り場を中心とした見学会(相模原側参加者16名・横浜側参加者6名)を実施した。

### (7) 民俗調査会 B

ア 内容 「町田観光ガイドブック」を元に、市域から町田市にかけてのフィールドワークを行った。

イ 登録者 26人

ウ 参加者 延べ 172人(毎月一回実施しているフィールドワーク他の参加人数)

( 8 ) 水曜会

- ア 内 容 津久井郷土資料館（当時）に保管されていた鈴木重光氏が寄贈した資料のうち、未整理のものについての目録化などの作業を継続的に行っている。
- イ 登録者 16名（平成28年3月末現在）
- ウ 参加者 延べ 331人（毎月2～3回程度実施している作業等に参加した人数）

( 9 ) 相模原市立博物館天文クラブ

- ア 内 容 相模原市立博物館と協働して、身近に起きる天文現象の記録化と資料化を図り、資料の保存事業や展示観測会等の教育普及事業に協力する活動を行った。
- イ 登録者 20人（平成28年3月末現在）
- ウ 博物館天文クラブとの共同天体観測会（11月6日及び7日に実施）  
参加者 20人（天体写真撮影及びその内容の記録化、資料化）

( 10 ) 福の会

- ア 内 容 博物館で新たに収集した民俗資料の整理とともに、大型・生活資料収蔵庫の受入番号や配架番号等の確認などの再整理作業を実施した。
- イ 登録者 12名（平成28年3月末現在）
- ウ 参加者 延べ 180人（毎月2回程度実施している作業及び展示作業等に参加した人数）

( 11 ) NPO法人ふじの里山くらぶ

- ア 内 容 相模原市協働事業提案制度により採択された「吉野宿ふじや活性化事業」の実施団体として、吉野宿ふじやを拠点に地域の特性を活かし情報発信活発化のための各種事業を博物館と協働で実施した（3年継続事業の3年目）。  
夏休み企画「蚕の飼育」  
企画展「第3回藤野の懐かしい写真」展・「戦時中の体験記」展  
企画展「桂川・相模川」展 人々の生活と川  
歴史散策「第3回緑区藤野地域甲州道中を行く」  
語り合うつどい「吉野宿ふじやを拠点にした活性化策について」  
季節展示「第2回藤野のおひなさま」展  
吉野宿ふじや看板設置  
吉野宿ふじや案内パネル設置
- イ 実施日 7月25日(土)～8月30日(月)  
7月22日(水)～10月31日(土)  
11月10日(火)～1月31日(日)  
11月28日(土)  
1月16日(土)  
2月2日(火)～3月27日(日)  
3月17日(木)完成  
3月17日(木)完成
- ウ 参加者 265名  
1073名  
803名  
28名（募集定員制）  
74名（会場定員制）  
452名

( 12 ) 尾崎行雄を全国に発信する会

- ア 内 容 相模原市協働事業提案制度により採択された「尾崎行雄の業績と弔堂桜を広める事業」(尾崎弔堂記念館活性化事業)の実施団体として、尾崎弔堂記念館を拠点に「郷土出身の偉人」のさらなる情報発信を充実させる各種事業を博物館と協働で実施した（3年継続事業の2年目）。

- ハナミズキ返礼 100 周年記念企画展「日米交流の桜とハナミズキ」の開催  
ハナミズキ返礼 100 周年記念講演会の開催  
尾崎弔堂ゆかりの地訪問の旅とガイドの実施  
尾崎弔堂記念館常設展示模様替えの実施  
桜植栽事業の準備作業
- イ 実施日 9月22日(火)～10月18日(日)  
9月26日(土)  
7月12日(日)  
2月1日(月)～2月8日(月)  
通年(3月26日仮移植作業)
- ウ 参加者 277人(来館者数)  
53名  
45名

(13) さがみはら動物標本クラブ

- ア 内容 平成26年度から活動を始めたボランティアグループ。博物館で保管しているものを中心に鳥獣の冷凍資料を標本化し、あわせて解剖や外部計測などの専門的な技術を習得した。
- イ 登録者 18人
- ウ 参加者 延べ 80人

## 資料管理

### 1 博物館収蔵資料点数（平成 28 年 3 月 31 日現在）

#### 博物館 館内収蔵資料点数リスト

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位
考古	考古資料	考古資料収蔵庫等	6,453	箱
歴史	歴史資料	古文書収蔵庫	6,008	点
	歴史資料	生活資料収蔵庫	1,305	点
	歴史資料	特別収蔵庫	11,286	点
	古文書等市史資料 (旧役場文書は除く。)	古文書収蔵庫	3,322	点
	古文書等市史資料	特別収蔵庫	21,742	点
	購入資料	特別収蔵庫	112	点
分野計			43,775	
民俗・地理	民俗・生活資料	生活資料収蔵庫・	21,812	点
	軍事資料	大型資料収蔵庫	1,569	点
	地図・写真資料	図面保管庫	5,911	点
分野計			29,292	
地質	化石資料	地質資料収蔵庫等	196	点
	岩石・薄片資料	地質資料収蔵庫等	1,343	点
	テフラ資料	地質資料収蔵庫等	1,377	点
	ボーリング資料	地質資料収蔵庫	323	点
	砂礫・泥流堆積物資料等	地質資料収蔵庫等	572	点
	文献	地質資料収蔵庫等	2	点
分野計			3,813	
動物	魚類	液浸標本収蔵庫	40	点
	昆虫類	動植物資料収蔵庫	38,813	点
	小動物等	液浸標本収蔵庫等	594	点
	鳥類	動植物資料収蔵庫等	142	点
	哺乳類	動植物資料収蔵庫等	14	点
分野計			39,603	
植物	乾燥標本等	動植物資料収蔵庫	52,975	点
	植物画資料	動植物資料収蔵庫	6	点
分野計			52,981	
天文	スライド等	フィルム収蔵庫	2,108	点
	購入資料	天文展示室	14	点
分野計			2,122	
二次資料	図書	市民研究室等	36,610	点
	ビデオ・CD-ROM, DVDソフト	情報サービスコーナー	405	点
	歴史関係図書類	古文書収蔵庫	3,813	点
分野計			40,828	
合計			218,867	

#### 館内収蔵美術品資料点数リスト

#### 館内収蔵美術品（文化振興課扱）

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位
美術品	絵画	美術品収蔵庫	395	点
	書	美術品収蔵庫	55	点
	彫刻	美術品収蔵庫	2	点
	写真	フィルム収蔵庫	2,029	点
合計			2,481	

平成 27 年度 相模原市立博物館 年報

館内収蔵市史資料

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位
市史資料	行政資料 (旧役場文書)	古文書収蔵庫	600	点

博物館関係施設収蔵資料点数リスト

分野	分類	施設名	収蔵点数	単位
考 古	考古資料	藤野第 2 資料保管庫	411	箱
		津久井郷土資料室	354	箱
		城山郷土資料保管庫	444	箱
		吉野宿ふじや	160	箱
		分野 計	1,369	
歴 史	歴史資料	津久井郷土資料室	688	点
		尾崎弔堂記念館	3,816	点
		小原本陣・小原の郷	254	点
		城山郷土資料保管庫	95	箱
		吉野宿ふじや	669	箱
分野 計	5,522	点		
民俗・地理	民俗・生活資料	藤野第 2 資料保管庫	0	点
		津久井郷土資料室	14,503	点
		小原本陣・小原の郷	401	点
		城山郷土資料保管庫	850	点
		吉野宿ふじや	1,470	点
分野 計	17,224	点		
動 物	昆虫類	吉野宿ふじや	115	点
合 計			24,230	

博物館関係施設別一覧

施設	分野	分類	収蔵点数	単位
藤野第 2 資料保管庫	考古	考古資料	411	箱
	民俗・地理	民俗生活資料	0	箱
	施設 計		411	箱
津久井郷土資料室	考古	考古資料	354	箱
	歴史	歴史資料	688	点
	民俗・地理	民俗生活資料	14,503	点
	施設 計		15,545	
尾崎弔堂記念館	歴史	歴史資料	3,816	点
小原本陣・小原の郷	歴史	歴史資料	254	点
	民俗・地理	民俗生活資料	401	点
	施設 計		655	
城山郷土資料保管庫	考古	考古資料	444	箱
	歴史	歴史資料	95	箱
	民俗・地理	民俗生活資料	850	点
	施設 計		1,389	
吉野宿ふじや	考古	考古資料	160	箱
	歴史	歴史資料	669	点
	民俗・地理	民俗生活資料	1,470	点
	動物	昆虫類	115	点
	施設 計		2,414	
合 計			24,230	

## 2 収集・整理

分野	内 容
考古	埋蔵文化財再整理（国庫補助事業）
歴史	寄贈・寄託歴史資料の分類整理、市域生活資料の収集整理、尾崎行雄(号堂)関係資料の分類整理
民俗	市域の民俗資料の収集及び収蔵番号の整備などの諸整理
動物	動物資料の収集及び標本の作製・整理、適正な保管を目的とした点検作業
植物	植物資料の収集及び標本の作製・整理適正な保管を目的とした点検作業
地質	地質資料の収集及び標本の作製・整理、収蔵資料の整理
天文	天文現象・太陽画像の撮影 インターネットによる公開天文台ネットワーク等からの画像収集
情報	他博物館等から送付された刊行物の整理

## 3 購入資料

区 分	内 容
学術専門雑誌	考古学ジャーナル、月刊むし、天文月報等の専門雑誌 15 種 (市民研究室、天文研究室で開架)

## 4 有害生物管理の実施

### (1) 受入れ資料のくん蒸

殺菌、殺虫、殺卵のため、ガス薬剤（エキヒューム）を用いた定期的なくん蒸を実施した。洗浄乾燥室において2回、受入れ資料を対象に、被覆法により定期的なくん蒸を実施した。特別収蔵庫・古文書収蔵庫・美術品収蔵庫を1回、収蔵資料を対象に密閉くん蒸を実施した。

### (2) 有害生物調査

7月～10月、収蔵庫および作業室を対象に、各種トラップを用いて有害生物の侵入状況を調査した。

## 5 資料の特別利用

利用総件数 101件（平成27年度中に利用申請されたもの）

資 料	区 分	利用期間	申 請 者	目 的
出土石核写真	データ利用	4月6日～5月15日	かながわ考古学財団	出版物掲載
テフラ試料他	館外貸出	5月22日～6月12日	個人	調査研究
遺物出土状況写真	データ利用	5月15日～5月30日	かながわ考古学財団	出版物掲載
旧新磯村役場文書他	撮影	5月26日	個人	調査研究
旧麻溝村役場文書他	撮影	6月4日	個人	調査研究
一遍上人像他	撮影	6月5日	個人	レポート作成資料
旧相原村役場文書他	撮影	6月12日	個人	調査研究
旧相原村役場文書他	撮影	6月25日	県立総合教育センター	出版物用資料調査
地形図	撮影	6月18日	東林公民館	講座資料
旧相原村小川家文書他	閲覧	6月18日	個人	調査研究
出土青磁	館外貸出	6月19日～7月10日	個人	論文作成資料
火山灰資料	館外貸出	6月29日～7月10日	個人	論文作成資料
地形図及び写真パネル	閲覧・館外貸出	7月15日～7月22日	個人	研修会資料
銀行株式券状他	模写	7月7日	個人	調査研究
出土石皿	撮影・実測	7月25日	個人	論文作成資料
陸軍通信学校配置図	模写	7月4日	個人	調査研究



二万五千分の一地形図	複写	7月14日	個人	調査研究
航空写真	複写	7月10日	個人	調査研究
勝坂遺跡土器	閲覧・撮影	8月4日	個人	論文作成資料
市史現代図録編写真	館外貸出	8月4日	産経新聞社	新聞掲載
勝坂有鹿谷遺跡出土鏡他	館外貸出	7月28日	川崎市市民ミュージアム	企画展展示
天野貞祐関係資料	撮影	8月11日	個人	調査研究
勝坂遺跡出土土器他	撮影	8月11日	神奈川県文化遺産課	企画展調査
勝坂遺跡出土土器	撮影	8月11日	文化財保護課	市指定文化財関係調査
津久井城跡出土青磁	館外貸出	8月13日～9月30日	津久井町史編集委員会	書籍掲載用実測
地形図他	閲覧	8月19日	個人	調査研究
三ヶ木遺跡出土土器写真	館外貸出	8月25日～8月28日	文化財保護課	書籍掲載
尾崎行雄関係資料	閲覧	9月3日・5日	尾崎号堂記念館	企画展用調査
麻溝村土地宝典	撮影	9月15日	個人	調査研究
種豚共進会優勝旗他	館外貸出	9月9日～9月30日	個人	告別式展示
昭和42年青焼き地図「中央」	複写	9月20日	個人	調査研究
勝坂遺跡出土土器	模写	9月12日	個人	実測図作成
南津電気鉄道資料	撮影	9月11日	個人	調査研究
二万分の一地形図「荏田」	複写	9月12日	小陣	調査研究
勝坂遺跡出土土器他	撮影	9月23日	県教育委員会	印刷物掲載用

迅速測図	複写	9月23日	個人	調査研究
勝坂式土器写真	データ利用	9月21日～9月30日	個人	出版物掲載
雑誌「武相の若草」	撮影・閲覧	10月3日	個人	論文作成資料
石製模造品	閲覧	9月29日	個人	調査研究
旧相原村役場資料	撮影	10月2日	個人	調査研究
天野家文書	閲覧	10月2日	個人	調査研究
勝坂遺跡出土土器他	撮影	10月2日	文化財保護課	印刷物掲載
勝坂遺跡出土土器	館外貸出	10月2日～10月30日	文化財保護課	縄文まつり用レプリカ作成
中津層群放散虫化石写真	データ使用	10月17日～11月29日	平塚市博物館	展示及び印刷物掲載
中津層群産チャート礫	館外貸出	10月11日～12月7日	平塚市博物館	展示
旧小山村関口家文書他	閲覧	10月15日	個人	調査研究
尾崎行雄関係資料	館外貸出	10月22日～12月9日	伊勢市・尾崎弔堂記念館	展示
無量光寺文書（複製）	データ利用	10月8日	戎光祥出版株式会社	書籍掲載
大垂水峠茶屋写真	館外貸出	10月28日～11月5日	千木良地区連合自治会	展示
勝坂遺跡出土土器	館外貸出	10月29日～11月6日	文化財保護課	縄文まつり拓本体験
ボーリングコア	館外貸出	11月9日～12月8日	淵野辺東小学校	理科教育用
火山灰資料	館外貸出	11月20日～12月4日	個人	論文作成資料
石製模造品	閲覧	11月5日	個人	調査研究
昭和42年地図（星が丘・上溝）	複写	11月15日	陽光台1丁目自治会	展示

昭和 20 年代航空写真	撮影	11 月 10 日	建築審査課	道路調査
勝坂遺跡調査区写真他	データ利用	12 月 14 日～3 月 6 日	神奈川県文化遺産課	図録・パネル掲載
旧田名村役場資料	閲覧	11 月 20 日	田名四ツ谷自治会	自治会調査
刀他	館外貸出	11 月 20 日	個人	資料確認
航空写真	撮影	12 月 1 日	個人	調査研究
旧上溝村役場資料	撮影	12 月 2 日	管財課	市有財産確認
勝坂遺跡出土品他	館外貸出・撮影	12 月 4 日～3 月 25 日	神奈川県文化遺産課	展示・図録掲載
田名花ヶ谷戸遺跡出土土器	撮影	12 月 5 日	横浜市歴史博物館	資料調査
旧田名村役場資料他	撮影	12 月 8 日	個人	調査研究
迅速測図他	複写	12 月 8 日	(株)イビソク神奈川営業所	報告書作成
土地台帳	撮影	12 月 8 日	個人	市有地確認
手回し洗濯機写真他	データ利用	平成 28 年 4 月 1 日～30 年 3 月 31 日	新潟市小学校教育研究協議会	副読本掲載
養蚕用炉写真	データ利用	12 月 22 日～3 月 27 日	神奈川県立歴史博物館	印刷物掲載
田名花ヶ谷戸遺跡出土土器	館外貸出	12 月 13 日～4 月 15 日	横浜市歴史博物館	展示
旧上溝村小山家文書	撮影	12 月 13 日	個人	調査研究
道祖神石塔他	館外貸出・撮影	12 月 25 日～4 月 8 日	神奈川県立歴史博物館	展示
旧上溝村小山家文書他	撮影	12 月 22 日	個人	調査研究
旧上溝村役場資料他	撮影	12 月 27 日	個人	調査研究
旧相原村役場資料他	館外閲覧	平成 28 年 1 月 4 日～12 月 28 日	寒川町	文書館内での閲覧

旧田名村木原家文書他	撮影	1月5日	個人	調査研究
東原遺跡古墳出土遺物他	館外貸出	1月15日～3月31日	文化財保護課	展示
相模野周辺三十六カ村絵図写真	データ利用	1月8日	(株)スクエア・ノット	テレビ放映
旧田名村田所茂次家資料	撮影	1月10日	個人	調査研究
旧田名村木原家文書他	撮影	1月13日	個人	調査研究
蓮乗院「順席」写真	館外貸出	1月7日～2月4日	文化財保護課	指定文化財調査
田名向原遺跡住居状遺構遺物出土状況写真他	データ利用	1月19日～3月27日	神奈川県立歴史博物館	図録掲載・展示
津久井城古城図他	撮影・計測	1月20日	文化財保護課	報告書掲載
ムササビはく製	館外貸出	1月20日～1月29日	神奈川県立津久井湖城山公園	観察会資料
御所之入横穴遺物	撮影	1月27日	個人	調査研究
冷蔵庫他	撮影	1月17日	市立川尻小学校	授業用
糸車	閲覧	1月31日	個人	学習調査用
陸軍士官学校新築工事写真	複写	1月24日	相武台のナベト口遺跡をたどる会	展示発表用
幕末鉄砲写真	撮影	1月27日～3月5日	個人	学会発表資料
相模原市地形図他	複写	2月4日	個人	調査研究
昭和6年麻溝小学校調査研究誌	撮影	2月16日	個人	調査研究
昭和38年地図	複写	2月23日	個人	調査研究
旧相原村役場資料他	撮影	11月29日～2月24日	個人	調査研究
兵器学校教程火砲	閲覧	2月24日	個人	調査研究

生物標本	館外貸出	2月27日～7月31日	パルテノン多摩	展示
津久井城跡御屋敷跡出土品	館外貸出	3月7日～3月15日	(公財)神奈川県公園協会	展示
下原遺跡出土遺物他	館外貸出	3月11日～3月15日	文化財保護課	研修会用資料
地券台帳	撮影	3月11日	内藤測量設計(株)	所有者調査
相模原市都市計画図他	複写	3月11日	個人	調査研究
オオグワ他農具	館外貸出	平成28年4月1日～31年3月31日	国立民族学博物館	常設展示用
念仏講掛軸他	館外貸出	3月27日～4月19日	アートラボはしもと	展示
五万分の一陸地測量部地形図他	閲覧	3月27日	個人	調査研究
鈴木重光家資料	撮影	3月30日	八王子市郷土資料館	展示用調査

## 調査研究

分野及び調査者	内容と成果
考 古	大日野原遺跡の発掘調査を実施(中央大学との共同調査)し、縄文時代中期の集落跡の一部を検出した。
民 俗	市内外の祭礼・行事を調査し、ホームページ上の「博物館の窓・民俗の窓」において随時掲載した。これらの調査データの一部は、津久井町史文化遺産編執筆のためにも活用する。
歴 史	市域の近世～近現代資料の整理・分類を進めた。特に、近世の富士講に関係する史料が含まれていた「緑区太井 荒井家文書」について、概要を研究報告第24集に掲載した。
動 物	市内の動物分布状況調査を行い、希少動物の生息状況および生息環境を把握を進めた。
植 物	市内の維管束植物などの植物相調査を進め、その中で明らかになった市内に自生する絶滅危惧植物の保全、増殖事業に着手した。
地 質	相模原市周辺、鶴川、城ヶ島の地質調査を行った。調査結果の一部は、ホームページの「博物館の窓」、研究報告第24集、日本地質学会第122年学術大会において公表した。
天 文	日本の太陽系探査について調査研究を行い、企画展の展示に生かした。

### 検討会委員等の派遣

八王子市市史編集専門部会委員 加藤隆志

神奈川県生物多様性保全検討委員会 秋山幸也

国土交通省宮ヶ瀬湖河川水辺の国勢調査アドバイザー 秋山幸也

神奈川県丹沢再生委員会委員 秋山幸也  
清川村史編集委員会委員 守屋博文

## 市史・町史編さん

### 1 相模原市史

#### (1) 市史編さん審議会

ア 趣旨 市史編さんに関する重要な事項について、市長の諮問に応じて調査・審議する附属機関、委員 10 人。事務統合のため平成 22 年度から津久井町史についても取り扱うこととした。

#### イ 委員構成（任期 2 年）

平成 25 年 7 月 31 日～平成 27 年 7 月 30 日

会長 副会長

氏名	備考	選出区分
高城 玲子	公募委員	公募委員
高村 敦子	元相模原市立中央中学校教諭	学識経験者
長澤 敬子	元相模原市立くぬぎ台小学校長	学識経験者
中村 洋子	元大野南公民館長 副会長	学識経験者
奈良 雅之	元相模湖町立北相中学校長	学識経験者
樋口 雄一	元神奈川県公文書館郷土資料課長 会長	学識経験者
藤川 まなみ	桜美林大学准教授	学識経験者
守屋 浩之	津久井湖城山公園自然環境に関する連絡会委員	学識経験者
矢野 英明	帝京大学教職大学院客員教授	学識経験者
山村 比呂志	公募委員	公募委員

平成 27 年 7 月 31 日～平成 29 年 7 月 30 日

会長 副会長

氏名	備考	選出区分
小川 紳夫	公募委員	公募委員
岡田 万里子	桜美林大学准教授	学識経験者
高村 敦子	元相模原市立中央中学校教諭	学識経験者
長澤 敬子	元相模原市立くぬぎ台小学校長	学識経験者
中村 洋子	元大野南公民館長 副会長	学識経験者
奈良 雅之	元相模湖町立北相中学校長	学識経験者
樋口 雄一	元神奈川県公文書館郷土資料課長 会長	学識経験者
平澤 哲周	公募委員	公募委員
守屋 浩之	津久井湖城山公園自然環境に関する連絡会委員	学識経験者
矢野 英明	帝京大学教職大学院客員教授	学識経験者

#### ウ 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	8月26日(水)	(1) 会長及び副会長の選出について (2) 平成 26 年度市史・町史編さん事業の実施状況について (3) 平成 27 年度市史・町史編さん事業について (4) 津久井町史『通史編 原始・古代・中世』について (5) 相模原市史近代資料編について (6) その他
2	3月16日(水)	(1) 平成 27 年度市史・町史編さん事業の実施状況について (2) 津久井町史『通史編 原始・古代・中世』について (3) 相模原市史近代資料編について

	( 4 ) 相模原市史別巻について ( 5 ) その他
--	--------------------------------

**( 2 ) 市史編集委員会**

ア 趣旨及び委員構成

市史の編集方針及び執筆内容を検討する委員会。任期 2 年、委員 10 人、年 2 回開催

イ 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	8 月 4 日(火)	( 1 ) 平成 26 年度及市史編さん事業の実施状況について ( 2 ) 平成 27 年度市史編さん事業について ( 3 ) 相模原市史近代資料編の章立てについて ( 4 ) その他
2	2 月 17 日(水)	( 1 ) 平成 27 年度市史編さん事業の実施状況について ( 2 ) 相模原市史近代資料編について ( 3 ) 相模原市史別編について ( 4 ) その他

**( 3 ) 専門部会の活動状況**

・近現代部会

部会の開催(近代資料編への取り組みについて検討)

6 日(平成 27 年 5 月 9 日、7 月 11 日、9 月 12 日、11 月 14 日、平成 28 年 1 月 30 日、3 月 12 日)

**( 4 ) 普及事業**

ア 市史講演会「神社建築の歴史と相模原の神社」

内 容 市史「文化遺産編」を記念して、旧相模原市域を中心に、神社建築の歴史を分かりやすく紹介した。

実施日 9 月 27 日(日)

参加者 143 人

講 師 清水擴さん(東京工芸大学名誉教授)

イ 『相模原市史ノート』第 13 号の発行 A5 判、96 ページ、700 部、平成 28 年 3 月 31 日発行

ウ 市史刊行物の販売

各行政資料コーナー、博物館で販売

相模原市書店協同組合加盟店での販売を実施(平成 20 年 4 月～)

現在は 12 店舗で販売を実施

**2 津久井町史**

**( 1 ) 町史編集委員会**

町史編さんに必要な資料調査・収集を行うとともに、刊行物の企画及び構成の検討・編集等を行う委員会。任期 2 年、委員 17 人。なお、委員会は、平成 20 年 8 月の要綱改正により、必要に応じて編集委員長が招集し、部会及び特別部会ごとに開催する。

平成 27 年 12 月 17 日(木)に委員会を開催し、『通史編 原始・古代・中世』の刊行、今後のスケジュールについて確認・検討を行った。

**( 2 ) 各専門部会の活動状況**

町史編集委員会に設置された原始・古代、中世、近世、近代・現代、文化遺産の各部会及び合同部会長会議を開催し、刊行物の構成の検討や刊行に向けた調査・執筆、編集作業を行った。

原始・古代部会

- ア 部会の開催（通史編の進捗状況や、執筆内容の意見交換など）  
1日（27年11月21日）
- イ 調査の実施
  - ・考古資料調査 原稿執筆内容確認のための現地踏査や遺物調査を随時実施中世部会
- ア 調査の実施
  - ・中世資料調査 後北条氏文書等中世文書や関連文献等の調査を随時実施近世、近代・現代合同部会
- ア 合同部会の開催（『通史編 近世・近代・現代』の刊行にあたり、執筆者からの課題点・反省点や意見交換などを行うとともに、普及事業の企画等を検討した）  
1日（27年6月2日）
- 文化遺産部会
- ア 部会の開催（『文化遺産編』の執筆内容や調査の実施状況の報告など）  
2日（27年5月20日、12月16日）
- イ 調査の実施
  - ・神社調査 神社建築に関する調査
  - ・祭事調査 村芝居や例大祭、どんど焼きなどの調査
  - ・彫刻・絵画等調査 寺院に保存されている仏像や掛軸などの調査
  - ・近代化遺産土木調査 横浜水道や城山発電所、鉄塔、橋脚などの調査
  - ・近代化遺産建築調査 青根小学校や中野旧商店街の調査合同部会長会議
- ア 会議の開催（平成27年度町史編さん事業の実施状況について、『通史編 原始・古代・中世』について、『文化遺産編』について、ふるさと津久井について、その他）  
1日（28年3月16日）

### （3）普及事業

- ア 町史講演会「津久井の歴史に触れる」
  - 内 容 「津久井町史 通史編 近世・現代」の刊行を記念し、津久井生涯学習センターを会場に4つのテーマで講演会を開催した。全4回
  - 10月17（土） 「江戸時代の津久井-古記録に残された村の事件」  
講師 西川武臣さん（横浜開港資料館副館長）  
参加者 51人
  - 11月7日（土） 「江戸時代の人々の暮らしと川々」  
講師 原和之さん（津久井町史専門調査員）  
参加者 50人
  - 11月28日（土） 「関東大震災と津久井町城」  
講師 山口清さん（元城山町教育長）  
参加者 45人
  - 12月13日（日） 「明治大正期の水源地・津久井を考える」  
講師 乾照夫さん（元東京情報大学教授）  
参加者 41人
- イ 町史刊行物の発行
  - 『津久井町史通史編 原始・古代・中世』の発行
  - A5判 口絵カラー16ページ、本文白黒729ページ
  - 付録「津久井古城図」 1、200部
  - 平成28年3月31日発行
- ウ 町史刊行物の販売
  - 市立博物館、各行政資料コーナー
  - 相模原市書店協同組合加盟店での販売を実施（平成20年4月～）
  - 現在は12店舗で販売を実施



## 博物館関連施設

### 1 尾崎弔堂記念館（緑区又野）



尾崎弔堂記念館は、「憲政の神」といわれた尾崎行雄（弔堂）を多くの人に知ってもらおうと、生誕地である尾崎家代々の屋敷跡に昭和 32 年 1 月に、「尾崎弔堂生まれ地記念事業委員会」によって建設された。

昭和 33 年度に旧津久井町に寄贈され、平成 18 年 3 月の市町村合併に伴い相模原市教育委員会が所管引継ぎした。

敷地内には、尾崎自身の筆による「善悪乃標準の碑」が建てられており、館内には写真や肖像画、遺品のほかに幅広い活動の足跡を物語る資料が保存、展示されている。

#### （1）施設概要

ア 延べ床面積	229.62㎡
イ 建物構造	木造 瓦葺き 平屋建て
ウ 入館料	無料

#### （2）善悪乃標準の碑

敷地内に入って、右手にある秩父産の花崗岩でできた高さ 3メートル、幅 50センチメートルの碑面には、「世人乃幸福をます言行八みな善事之をへらす言行八みな悪事」の文が刻まれている。碑は、東京都港区・故上木長氏の建立であったが、弔堂ゆかりの地に保存したいとの希望を受けて、昭和 46 年に現在の場所に移設された。

#### （3）弔堂桜・里帰り桜

尾崎行雄が東京市長在職中の明治 45 年、米国ワシントンのポトマック公園に 3,000 本の桜の苗木を贈り、「日米友好の証」を築いたことはよく知られている。ワシントンから東京都足立区に里帰りしたソメイヨシノなど 4 品種の桜苗木を『弔堂桜』と命名、その内の『普賢象』1 本が平成 4 年記念館の庭に植樹された。

また、平成 24 年には桜寄贈 100 周年を記念し、新たな里帰り桜が有志により植栽された。

## 2 吉野宿ふじや（緑区吉野）



吉野宿は、江戸時代初期に定められた五街道のひとつ、「甲州道中」の宿場で江戸と甲府の中間にあたり、高遠藩・飯田藩・高島藩（諏訪藩）の参勤交代の常宿として栄えた。

「ふじや」は、かつて、旅籠「藤屋」として営まれていたが、明治 29 年の大火で焼失し、現在の建物は明治 30 年頃に建てられたものと言われている。

平成元年旧所有者から旧藤野町に建物が寄贈され、平成 18 年に藤野町指定重要文化財に指定された。

国道 20 号改良工事（歩道設置）に伴う曳家による移設及び改修が完了し、平成 25 年 7 月 2 日にリニューアルオープンし、平成 26 年 4 月 1 日には町家遺構としての見地から市登録文化財に登録された。

### （1）施設概要

ア 延べ床面積	392.51㎡
イ 建物構造	木造2階建て 切妻造 町屋建築
ウ 入館料	無料



発行日 平成 28 年 4 月 1 日  
相模原市立博物館  
住所 〒252-0221 相模原市中央区高根 3 - 1 - 15  
TEL 042 - 750 - 8030  
FAX 042 - 750 - 8061  
e-mail [hakubutsukan@city.sagamihara.kanagawa.jp](mailto:hakubutsukan@city.sagamihara.kanagawa.jp)  
URL <http://sagamiharacitymuseum.jp/>